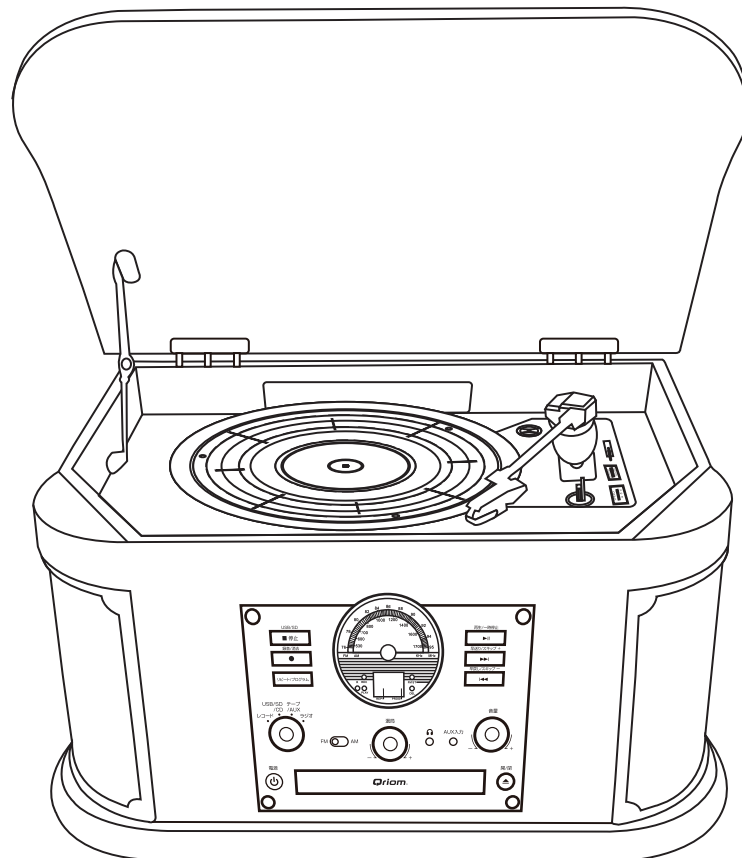


キュリオム  
**Qriom**

マルチレコードプレーヤー  
**MRP-M100CR**  
取扱説明書 (保証書付)

ご使用になる前に

この取扱説明書（保証書付）  
を最後までお読みのうえ、  
正しくお使いください。



商品に関するお問い合わせ

キュリオムサポートセンター



**0570-00-9106**

受付時間:

月～金 午前10時～午後5時30分

(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

※ナビダイヤルは一部の電話では  
ご利用になれない場合がございます。

メールでのお問い合わせ:

**E-mail: support@qriom.com**

ホームページ:

この度は、マルチレコードプレーヤーをお買い上げ  
いただき、誠にありがとうございました。ご使用の  
前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、機能を  
十分にかかして正しくご愛用下さい。お読みになっ  
た後は大切に保管し、わからないことや不具合が生  
じたときにお役立て下さい。

# 目次

## 1. 安全上のご注意

安全上のご注意 ..... 3

## 2. はじめに

各部の名称 ..... 7  
 付属品 ..... 9  
 リモコンの使い方 ..... 10  
 ヘッドホン（別売・市販品）などで聴くには ..... 11  
 外部スピーカー（別売・市販品）の接続 ..... 11  
 ラジオアンテナの設置 ..... 12  
 電源の入れ方・切り方 ..... 12  
 音量を調節するには ..... 13

## 3. レコードを聴く

レコードを聴く ..... 14  
 レコード針を交換する ..... 15

## 4. ラジオを聴く

ラジオを聴く ..... 16

## 5. CDを聴く

音楽CDを聴く ..... 17  
 MP3のCD（CD-R/RW）を聴く ..... 18  
 フォルダを選択する ..... 19  
 その他の機能 ..... 20  
     プログラム再生 ..... 20  
     リピート再生 ..... 21  
     イントロ再生 ..... 21

## 6. USBメモリー/SDカードを聴く

USBメモリー/SDカードを聴く ..... 22  
 フォルダ選択、プログラム、リピート、  
     イントロ再生 ..... 23  
 USBメモリーのお取り扱いについて ..... 24  
 SDカードのお取り扱いについて ..... 24

## 7. カセットテープを聴く

カセットテープを聴く ..... 26

## 8. AUX入力端子に色々な機器を接続して聴く

AUX入力端子に色々な機器を接続して聴く ..... 27

## 9. 録音する



レコードからUSBメモリー/SDカードに録音する ..... 28  
 音楽CDからUSBメモリー/SDカードに録音する ..... 30  
     アルバムを全曲録音する ..... 30  
     アルバムの中の1曲だけ録音する ..... 31  
     アルバムの曲をプログラムして録音する ..... 31  
 MP3のCD（CD-R/RW）から  
     USBメモリー/SDカードにコピーする ..... 32  
     MP3のCDから全曲コピーする ..... 32  
     MP3のCDから1曲コピーする ..... 32  
     MP3のCDからプログラムしてコピーする ..... 32  
     USBメモリー⇒SDカード、  
         SDカード⇒USBメモリーへコピーする ..... 32  
     カセットテープからUSBメモリー/SDカード  
         に録音する ..... 33  
 AUX入力端子からUSBメモリー/SDカードに  
     録音する ..... 34  
 ラジオからUSBメモリー/SDカードに  
     録音する ..... 36  
 USBメモリー/SDカードから音楽ファイルを  
     消去する ..... 37

## 10. その他



データの取り扱いに関する注意 ..... 38  
 著作権について ..... 38  
 故障かな・・・?と思ったら ..... 39  
 エラーメッセージ一覧表 ..... 40  
 本機の状態を表すメッセージ一覧表 ..... 40  
 製品仕様 ..... 41  
 免責事項 ..... 42  
 付属品等のオプション販売のご案内 ..... 42  
 お手入れの仕方 ..... 43  
 アフターサービス ..... 43  
 個人情報保護のお取り扱いについて ..... 43  
 保証書

## 安全上のご注意

※ご使用前に、「安全上のご注意」と「取扱説明書」の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
 ※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵の表示の例

-  ①記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
-  ●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

 <b>警告</b>	
 修理技術者以外の人は、分解、修理、改造をしない。 ●火災・感電・けがの原因となります。	 水につけたり、水をかけたりしない。 ●ショート・感電の恐れがあります。
 自動車内での使用はしない。また自動車内に放置しない。 ●本体の変形・故障の原因となります。	 開口部やすき間から異物を入れない。 ●火災・感電の恐れがあります。
 不安定な場所や傾いたところでは使用しない。 ●落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。	 雷が鳴り出したら本体に触れない。 ●感電やけがの恐れがあります。
 本製品から煙が出たり、異臭、異音などの異常を感じたりしたら、すぐに使用を中止してください。 ●そのまま継続して使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。	 本製品の放熱をさまたげない場所に設置してください。 ●他の機器、壁等から間隔をとって設置してください。ラックなどに入れる場合はすき間を空け、通風孔をふさがらないでください。内部に熱がこもり、火災の原因になります。
 電源コードを傷つけないでください。 ●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。電源コードや電源プラグが傷んだ状態（芯線の露出、断線、変形など）で使用すると、火災・感電の原因になります。	 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。 ●差し込みが不完全だと、発熱したりほこりが付着して火災の原因になります。電源プラグを根元まで差し込んでみがあるコンセントは使用しないでください。
 表示された電源・電圧（交流100ボルト）以外で使用しないでください。 ●表示された電源・電圧以外で使用すると、火災・感電の原因になります。本製品を使用できるのは日本国内のみです。	 電源プラグの清掃を定期的に行ってください。 ●電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因になります。電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。
 電源プラグは抜きやすい位置にあるコンセントに差し込んでください。 ●万一の場合に備えて、電源プラグはよく見えて容易に引き抜ける位置にあるコンセントに接続してください。	 電源コードの上に重い物を載せたり、本製品の下敷きにしたりしないでください。 ●コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。
 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電・故障の原因となります。	 ターンテーブルカバーに誤って手などを挟まないようにしてください。 ●けがの恐れがあります。

## 警告

<p><b>!</b> 他の機器に電波障害などの影響が発生したときは、使用を中止してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ラジオやテレビの近くで使用するとノイズを与えることがあります。また近くにモーターなどの装置があると、誤作動による事故の原因になります。</li> </ul>	<p><b>⊘</b> 本書で指定している以外の電池を使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●火災やけがの原因になることがあります。</li> </ul>
--	---

## 注意

<p><b>⊘</b> 高温、多湿、ほこりの多い場所に置かないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●窓際や車中など直射日光のあたる場所、ストーブのような暖房器具の近くなど高温になる場所、調理台や加湿器の近くなど油煙や湿気のある場所、またほこりの多い場所に放置すると火災・感電の原因になることがあります。</li> </ul>	<p><b>!</b> 本機を設置するときは、設置場所にご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●設置する場所（床面やローボード等の天井）によっては、設置面の材質によりへこみや変色が発生する場合がございますのでご注意ください。</li> </ul>
<p><b>!</b> 機器に接続するときは、機器の音量設定を最小にしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。</li> </ul>	<p>梱包袋は安全な場所に保管してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●製品を梱包していた袋は、お子様の手の届かない安全な場所に保管してください。窒息などの事故の原因になることがあります。</li> </ul>
<p><b>⊘</b> お手入れをするとき、長時間使用しないときは、電源をはずしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●安全のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。電池を取り付けている場合は電池を抜いてください。</li> </ul>	<p><b>⊘</b> 移動させるときは、電源プラグや接続したコードをはずしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。また、接続機器が落下したり転倒したりして、けがの原因になることがあります。</li> </ul>
<p><b>⊘</b> 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。</li> </ul>	<p><b>!</b> ブラウン管を使用したディスプレイから離して設置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●スピーカーの磁気により色むらが発生することがあります。</li> </ul>
<p><b>⊘</b> 音が歪んだ状態で長時間使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。</li> </ul>	

## 電池に関するご注意

<p><b>!</b> 必ず+（プラス）と-（マイナス）を正しく挿入してください。</p>	<p><b>!</b> 爆発及び破損の恐れがあるので、電池を分解したり熱を加えたりショートさせないでください。</p>
<p><b>!</b> 長時間使用しないときは、電池を抜いて保管してください。抜かない場合、液漏れの原因となります。</p>	<p><b>!</b> 電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。</p>
<p><b>⊘</b> 水や海水につけたり、端子部を濡らさないでください。</p>	<p><b>⊘</b> 指定された種類の電池を使用してください。</p>
<p><b>!</b> 万一、液が体についたときは傷害を起こす可能性があります。すぐにきれいな水で洗い流してください。また、液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い応急処置をした後、ただちに医師の治療を受けてください。</p>	<p><b>⊘</b> 直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所での使用・放置しないでください。液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・火傷・けがの原因になります。</p>

<p><b>!</b> 電池を持ち運んだり、保管する際は必ずケースに入れて、端子部分を保護してください。キーホルダーなどの貴金属と一緒に、携帯・保管しないでください。発熱や感電・火災の原因になります。</p>	<p><b>⊘</b> +(プラス)と-(マイナス)端子を接続しないでください。発熱や感電・火災の原因になります。</p>
<p><b>⊘</b> 直接半田付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。</p>	<p><b>⊘</b> 外装シール（絶縁被覆）の破れた電池を使わないでください。</p>
<p><b>⊘</b> 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。</p>	<p><b>⊘</b> 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示にしたがって廃棄してください。</p>
<p><b>!</b> 万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、①けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。②お買い上げ店またはキュリオムサポートセンターへお問い合わせください。放置すると火災や火傷の原因になります。</p>	<p><b>⊘</b> ニッケル水素充電電池（エネループ等）、リチウム充電電池を本製品で充電することはできません。</p>
<p><b>⊘</b> 液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合、使用を中止してください。</p>	<p><b>⊘</b> 火気のある場所に電池を置かないでください。</p>
<p><b>⊘</b> 充電した電池と放電した電池を一緒に混ぜて使用しないでください。</p>	<p><b>⊘</b> 容量、種類、銘柄の異なる電池を一緒に混ぜて使用しないでください。</p>
<p><b>⊘</b> 充電電池は、同時に充電した充電電池をご使用ください。</p>	<p><b>⊘</b> 電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。</p>

## 使用できる電池について

本製品に付属のリモコンでご使用になれる電池は以下の電池です。この電池以外をご使用にならないよう十分にご注意ください。

- 単4形アルカリ乾電池  
（推奨：パナソニック、東芝、日立マクセル、SONY等の日本メーカーが生産している電池）
- ニッケル水素充電電池（推奨：パナソニック エネループ）

<ご注意>



- 日本のメーカー以外のアルカリ電池やニッケル水素充電電池は本製品の性能を十分に発揮できない場合がありますのでご了承ください。
- オキシライド乾電池はご使用できませんので、ご注意ください。


## ノイズについて

■本機をご使用中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話、パソコンなどに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。

## CD について

### CDについて

- ディスクに   のマークがあるものがご使用できます。

- ディスクに  のマークがあるコピーコントロールCDにつきましては、コンパクトディスク規格に準拠されない特殊なディスクであり、本機での正常な動作、再生、または音質等の保証は致しかねます。音楽ディスクのパッケージをよく確認してください。また、コピーコントロールCDをUSBメモリー及びSDカードへ録音することはできませんのでご注意ください。なおコピーコントロールCDの詳細につきましては、ディスクの発売元、または販売元へお問い合わせくださいますようお願いいたします。

## CD-R、CD-RWの再生について

- CD-R、CD-RWのメーカー、容量、書き込みソフトウェアの種類、状態によって、再生の不具合や音飛び、雑音がまじるなどの可能性があります。
- ファイナライズ処理を行っていない場合、再生できません。

## DualDiscについて

- DualDiscは音楽と映像用のディスクを組み合わせた両面ディスクで、コンパクトディスク規格に準拠していません。このため、本機での正常な動作、再生、音質等の保証は致しかねます。

## ディスクの形状、使用について

- ひびや変形しているもの、またテープなどで補修したCDを使用しないでください。故障やけがの原因となります。
- 円形以外の特殊な形状をしたCDを使用しないでください。故障の原因となります。
- 脱着時にCDの再生面に触れないようにしてください。
- CD本体に紙やテープなどを貼らないでください。故障の原因となります。
- ディスクに汚れ等が付いた場合、柔らかい布でCDの中心から外へ向けて放射状に軽くふき取ってください。
- 長時間使わない場合、CDをプレーヤーから取り出してケースに保管してください。またCDを取り出した後はCDドアを閉めてください。

## 結露について

- 寒暖差の激しいところへ移動すると、読み込みレンズに水滴やくもりがつく結露現象が発生し、CDの読み込みが一時的にできなくなる可能性があります。その場合は一度CDを取り出していただき、数時間後に再度お試しください。

## レコードについて

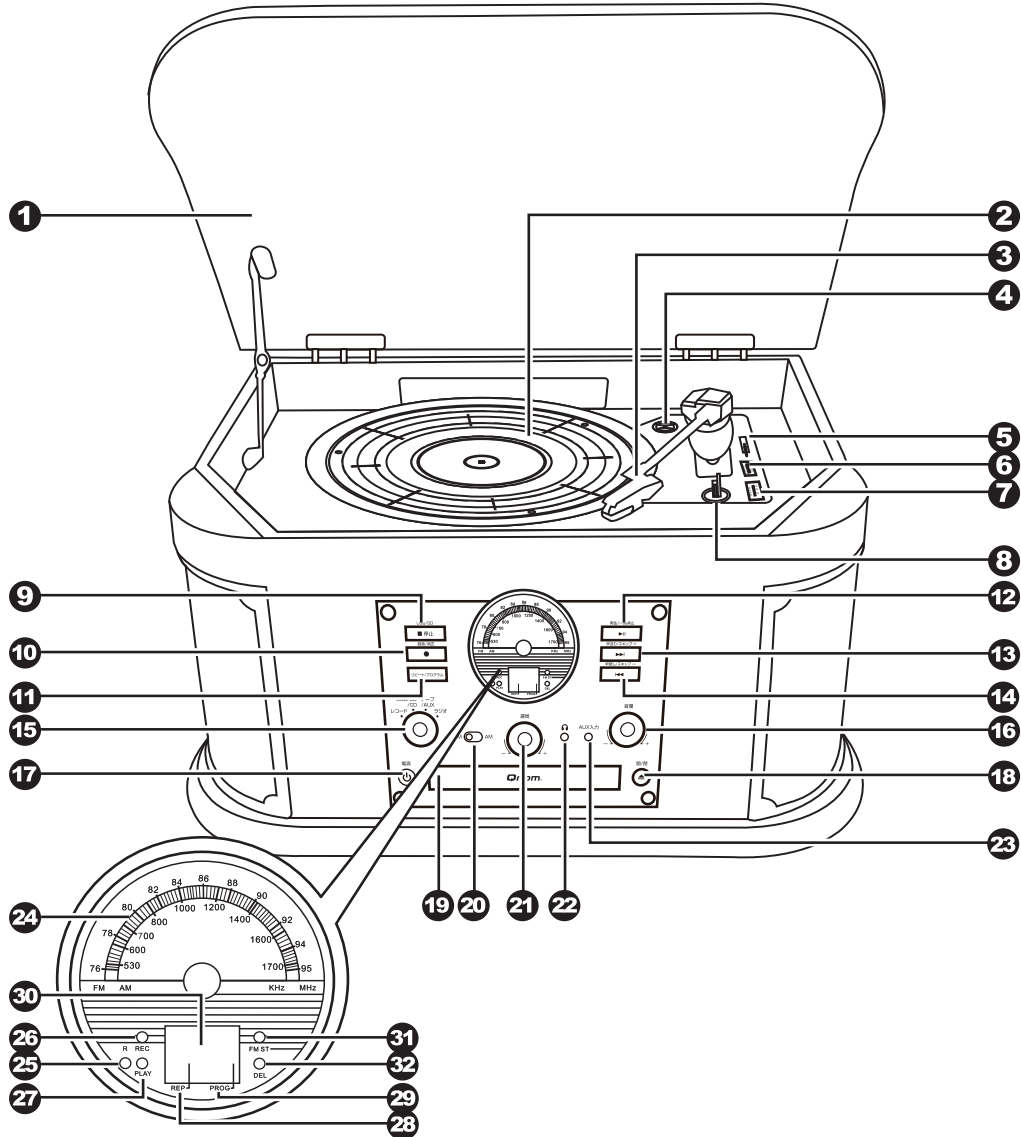
- レコードを持つ際は、音溝部分に手を触れないように、外周やレーベル部分を持ってください。
- レコードのお手入れの際は、市販のレコードクリーナーをお使いください。レコードクリーナー以外の薬剤を使うとレコードが痛む可能性があります。
- レコードクリーナーを使ってお手入れをする場合、音溝にそって円を描くように拭いてください。
- レコードを保管する際は、高温又多湿の場所に置いたり、または重いものを乗せたり他のレコードを重ねたりしないでください。そりや破損の原因となります。
- 再生を終わったら、そのままターンテーブルに置かずにケースにしまってください。そりや破損の原因となります。
- ヒビが入ったレコードを使用するのはおやめください。故障の原因となります。

## カセットテープについて

- カセットを開けたり、テープを無理に引き出ししたりしないでください。
- テープを指で触れたり、ほこりやごみの多いところで保管すると再生不良を起こしますのでおやめください。
- 磁気の強いものの近くに置かないでください。
- カセットの形が変形しているもの、テープに歪みが出ているもの、早送り、巻き戻し時に変な音が発生するものは正常に使用しない可能性がありますのでご了承ください。
- 90分以上の長時間用テープ（テープが薄く伸びやすいもの）は絡まったり巻き込まれたりしやすいのでご使用はおやめください。
- 本機で再生中にテープが破損した場合、保証はできませんのでご了承ください。

各部の名称

本体正面



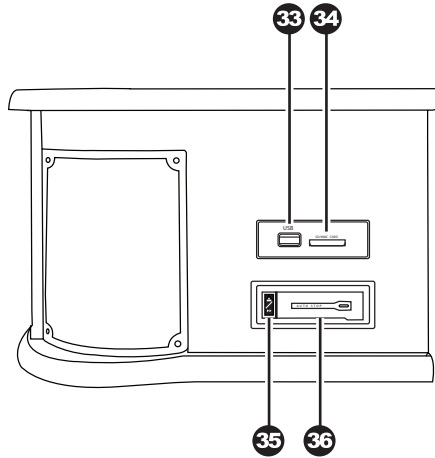
- ① ターンテーブルカバー
- ② ターンテーブル
- ③ トーンアーム
- ④ EPアダプター
- ⑤ トーンアームレバー
- ⑥ オートストップ切替スイッチ
- ⑦ 速度切替スイッチ
- ⑧ アームレスト
- ⑨ USB/SDボタン(停止ボタン)
- ⑩ 録音/消去ボタン
- ⑪ リピート/プログラムボタン
- ⑫ 再生/一時停止ボタン

- ⑬ 早送り/スキップ+ボタン
- ⑭ 早戻し/スキップ-ボタン
- ⑮ レコード/USB・SD・CD/  
テープ/ラジオ切替つまみ  
(モード切替つまみ)
- ⑯ 音量つまみ
- ⑰ 電源ボタン
- ⑱ CD開閉ボタン
- ⑲ CDドア
- ⑳ FM/AM切替スイッチ
- ㉑ 選局つまみ
- ㉒ ヘッドホン端子

- ㉓ AUX入力端子
- ㉔ 周波数目盛
- ㉕ リモコン受光部
- ㉖ 録音ランプ
- ㉗ 再生ランプ
- ㉘ リピートランプ
- ㉙ プログラムランプ
- ㉚ トラック番号/モード表示
- ㉛ FMステレオランプ
- ㉜ 消去ランプ

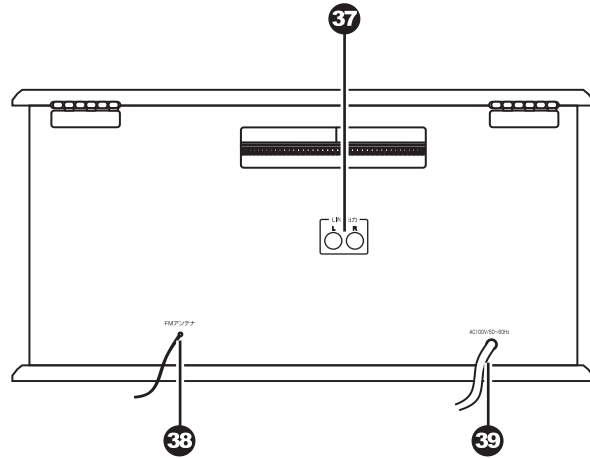
## 各部の名称

### 本体右側面



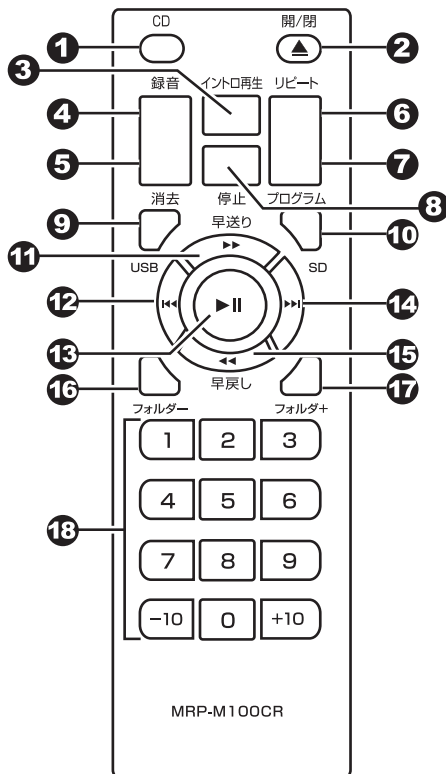
- 33 USB端子
- 34 SDカードスロット
- 35 カセット取出し/早送りボタン
- 36 カセット挿入口

### 本体背面



- 37 LINE出力端子
- 38 FMアンテナ
- 39 電源コード

### リモコン

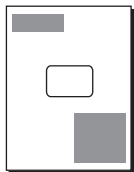


- 1 CDボタン
- 2 CD開閉ボタン
- 3 イン트로再生ボタン
- 4 録音ボタン
- 5 消去ボタン
- 6 リピートボタン
- 7 プログラムボタン
- 8 停止ボタン
- 9 USBボタン
- 10 SDボタン
- 11 早送りボタン
- 12 スキップ-ボタン
- 13 再生/一時停止ボタン
- 14 スキップ+ボタン
- 15 早戻しボタン
- 16 フォルダスキップ-ボタン
- 17 フォルダスキップ+ボタン
- 18 10キーボタン

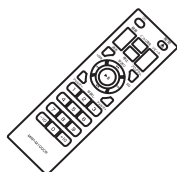


### 付属品

下記の通り、付属品が同梱されていることを確認してください。



取扱説明書



リモコン



交換用レコード針



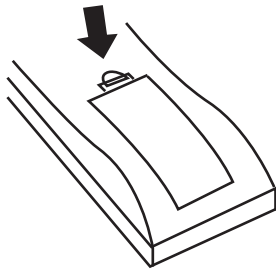
EP（ドーナツ盤用）アダプター

※レコード針は消耗品となります。破損した場合は保証期間の有無に限らず有償での交換となりますのでご了承ください。

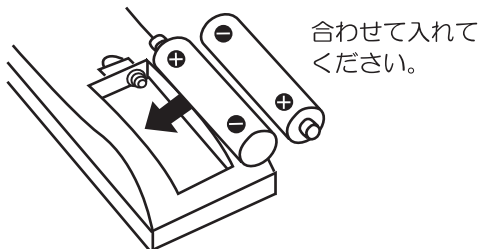
### リモコンの使い方

本体の電源を入れた後で、CDの再生/一時停止/スキップ/プログラム/リピート/停止等をリモコンを使用して、操作することができます。（単4形乾電池は別売ですので市販品をお求めください。）

- 1** 電池カバーの爪部分を押し下げながら、手前に引っ張ってカバーを外してください。

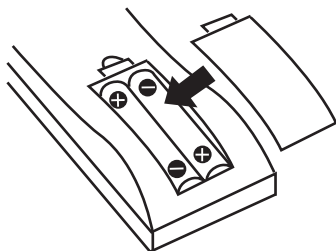


- 2** 単4形乾電池2個（別売）を電池ケースに入れます。その際は電池ケースに図示された極性に合わせてください。

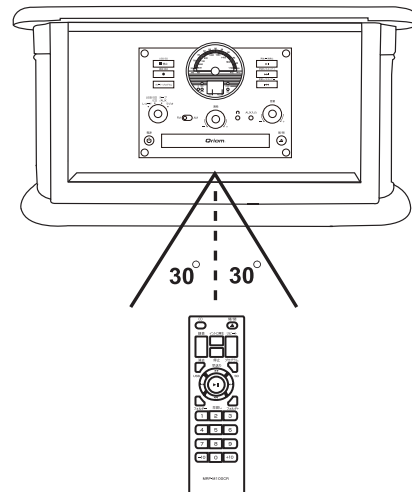


プラス⊕ マイナス⊖ を確認して間違えないように入れて下さい。

- 3** 電池ケースの下にあるくぼみにカバー下のでっぱりを合わせてから、カバーをはめ込んでください。



リモコンは左右30度の角度で水平にして、約6メートル以内で使用してください。



#### ⚠ 注意

リモコンを1か月以上使用しない場合は、必ず電池を取り出しておいてください。  
電池を入れたままにしておくと、液漏れによりリモコンが損傷する原因となります。  
電池の液漏れによるリモコンの故障は保証期間中の場合でも有償修理となりますのでご注意ください。

付属のリモコンが破損や紛失した場合は専用部品をお取り寄せとなりますので、各販売店、又は下記のネットショップにお問い合わせください。市販品はご使用になれませんのでご了承ください。詳しくはP42「付属品等のオプション販売のご案内」を参照してください。

YAMAZEN 暮らしのeショップ  
<http://www.rakuten.ne.jp/gold/e-kurashi/>

### ヘッドホン（別売・市販品）などで聴くには

本体正面のヘッドホン端子に差し込みます。



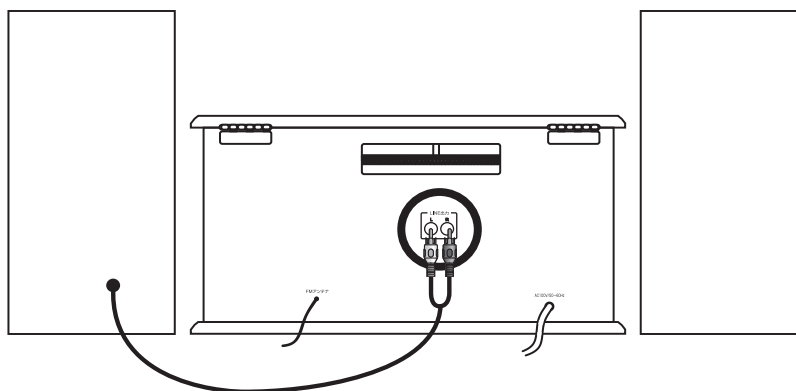
※ 端子がミニプラグ（3.5mm）のヘッドホン又はイヤホン（別売・市販品）をお買い求めください。電気店等でお求めいただけます。

<参考> ヘッドホン端子にヘッドホン（又はイヤホン）を差し込みますと、スピーカーからは音は出ません。レコードの再生時には特性上、レコードから音が出ますのでご了承ください。

### 外部スピーカー（別売・市販品）の接続

本機は背面のLINE出力端子にアンプ内蔵型スピーカー（別売・市販品）を接続することができます。

**1** スピーカーを本体の両側に設置します。



**2** アンプ内蔵型スピーカー（別売・市販品）のRCAケーブルを本機の背面にあるLINE出力端子に接続します。（上図のように取り付けます。）

※詳しくは外部スピーカー（別売・市販品）の取扱説明書をご参照ください。

LINE出力の音量調節は本機の音量つまみではできません。外部スピーカーの音量つまみ等で音量を調節してください。

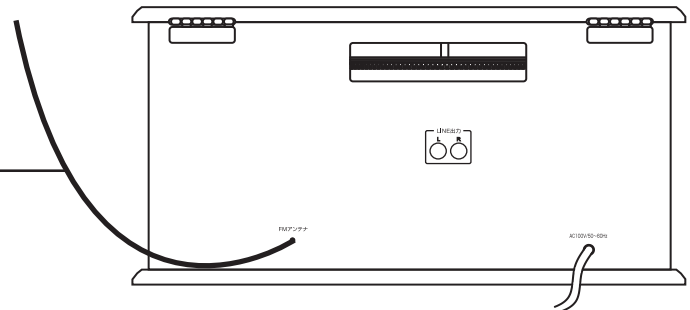
本機にイヤホンを接続しても外部スピーカーから音が出ますのでご注意ください。

### ラジオアンテナの設置

#### FMラジオの場合

本体背面に付属しているFMアンテナコードを  
いっばいに伸ばして、よく聞こえる方向に向け  
てお聴きください。

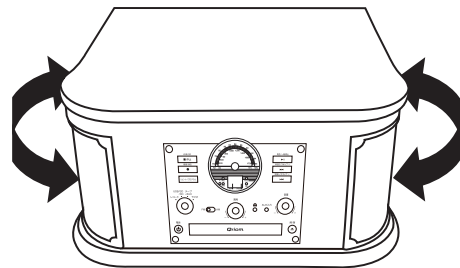
FMアンテナコード



#### AMラジオの場合

AMラジオのアンテナは本体に内蔵されていますので、  
本体の位置を動かして、よく聞こえる位置に設置してく  
ださい。

パソコンやテレビ等の電化製品の近くでは受信状態が非  
常に悪くなりますので、できるだけ離してご使用くださ  
い。

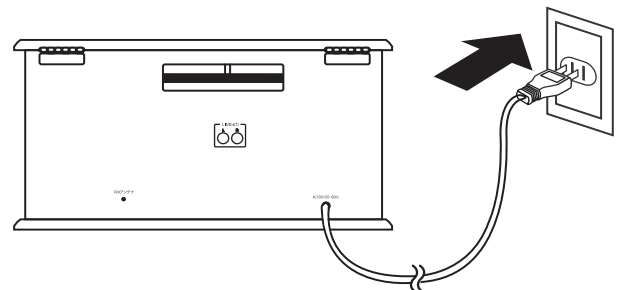


### 電源の入れ方・切り方

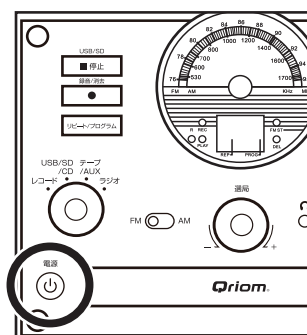
#### 電源の入れ方

※リモコンで電源の入り/切りは操作できませんのでご注意ください。

- 1 ACプラグをご家庭のコンセントに差し込みます。



- 2 電源ボタンをカチッというまで押しますと、主電源が入ります。

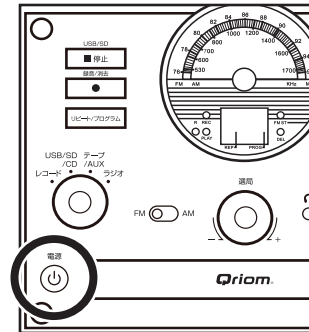


### 電源の切り方

- 1 電源ボタンをカチッというまで押し、主電源を切ります。
- 2 ACプラグをコンセントから抜きます。

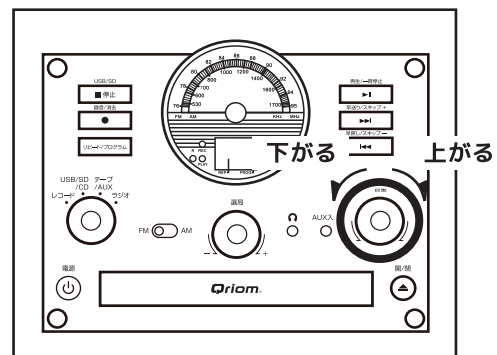
#### △注意

ACプラグをコンセントから抜く時は、コードを引っ張らずに必ずACプラグを持って引き抜いてください。



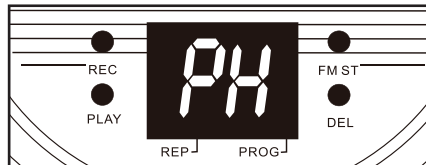
### 音量を調節するには

音量つまみを右に回すと、音量が上がります。  
音量つまみを左に回すと、音量下がります。

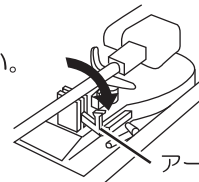


## レコードを聴く

### ディスプレイ表示について



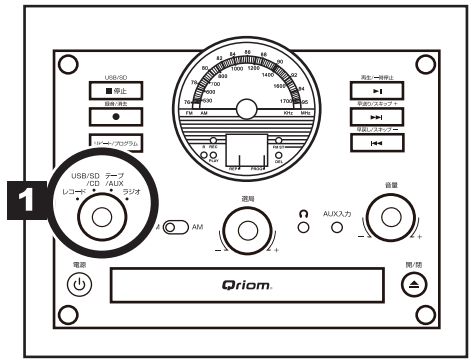
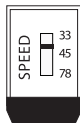
再生する前にトーンアームがアームレストから取り外せることを確認してください。トーンアームが動かない場合は、アームレストの留め具を外してください。アームレストの留め具はデリケートな部品のため丁寧に扱いください。回転中のレコード盤を針でひっかくとレコードに傷がつくのでご注意ください。



アームレストの留め具未使用時にアームを固定することができます。

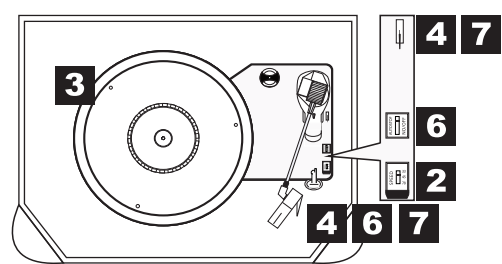
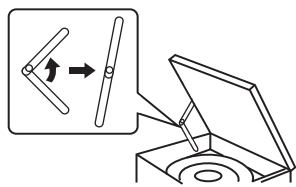
**1** モード切替つまみをレコードに合わせます。  
 ※レコード再生中にモード切替つまみを変更するとレコードの再生が停止しますのでご注意ください。

**2** 速度切替スイッチで、聴くレコードに適した回転数を選択します。  
 ※速度切替スイッチの右横に表示されている「33」は略式表記です。実際の速度は「33 1/3」です。

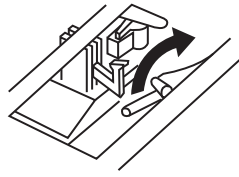


**3** ターンテーブルカバーを開けて、レコードをターンテーブルの上に置きます。  
 ⚠ ターンテーブルカバーで指を挟まないようにご注意ください。


ターンテーブルカバーを閉める時は手を挟まないように注意して、カバーを支えている金具の真ん中付近を少し手前に引くと簡単に閉まります。



**4** トーンアームレバーを上にしてトーンアームを上を持ち上げます。針を落とす位置にトーンアームを移動するとレコードが回転し始めます。トーンアームレバーを下にして針を落とします。レコードの再生が始まります。再生を一時停止する場合はトーンアームレバーを上にしてトーンアームを上を持ち上げます。下に操作すると針が落ち再生を再開します。



<ご注意>  
 ご購入時に初めて本機をご使用の際、レコード針の保護カバーを取り外してください。レコード針はデリケートな部品のため丁寧に扱いください。



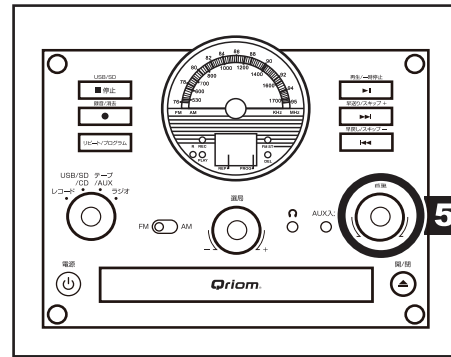
LP盤などサイズの大きいレコードを再生するときは本体背面の隙間よりレコードがはみ出しますので、壁やケーブル等に接触しないようご注意ください。

**5** 音量つまみを回して、好みの音量に調節します。

**6** レコードの再生が終わると、レコードの回転は自動的に止まります。レコードの回転が止まったら、トーンアームを持ち上げてアームレストに戻してください。

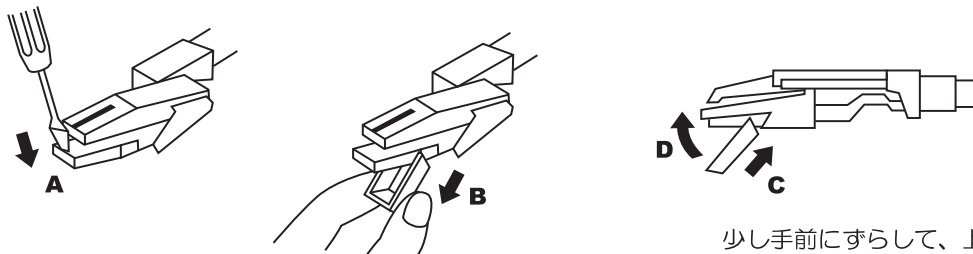
※オートストップ切替スイッチがOFFの場合は、再生が終わってもレコードの回転は自動的に止まりません。標準品以外のレコード（レコードの中心近くまで溝があるものや、再生の途中で止まってしまうレコード）をお聴きになる際にオートストップをOFFに設定してください。

**7** 手でレコードを止めるにはトーンアームレバーを上にして、トーンアームを持ち上げてトーンアームをアームレストに戻してください。



## レコード針を交換する

本機のレコード針は、交換することができます。  
レコード針はデリケートな部品のため丁寧にお取り扱いください。  
※本製品には交換用のレコード針が1個付属しています。



この部分（赤色）を下に引っ張る

少し手前にずらして、上にはめてから奥にカチッと音がするまで入れる

**1** 手でアームヘッドを押さえながら、古いレコード針のカートリッジを図のようにマイナスドライバーなどで傷つけないように、下に向かって押し外してください。

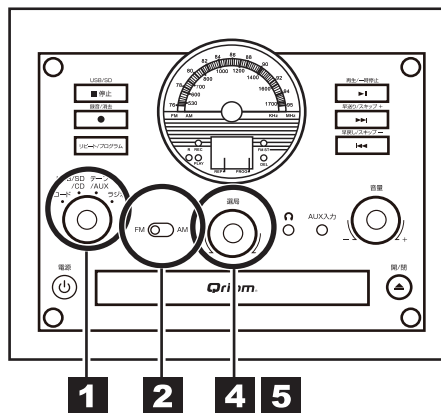
**2** 新しいレコード針を傷つけないよう注意しながら、カートリッジを少し手前にずらして、上にはめてから奥にカチッと音がするまで押し入れてください。

交換用のレコード針は専用品をお取り寄せとなりますので、各販売店、又は下記のネットショップにお問い合わせください。市販品はご使用になれませんのでご了承ください。詳しくはP42「付属品等のオプション販売のご案内」をご参照ください。

YAMAZEN 暮らしのeショップ  
<http://www.rakuten.ne.jp/gold/e-kurashi/>

### ラジオを聴く

- 1 モード切替つまみをラジオに合わせます。
- 2 FM/AM切替スイッチで、AMかFMを選択します。
- 3 P12を参照してAMまたはFMのアンテナを調整します。
- 4 選局つまみを回して、お好みの放送局の周波数に合わせます。
- 5 雑音が多い場合、**3**、**4**を繰り返し調整します。



※FM放送は受信状態が良好の場合のみFMステレオランプが点灯し、ステレオ放送になります。

### ワイドFMについて

ワイドFM（FM補完放送）とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のためにFM放送用に新しく割り当てられた90.1～94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。

本機はワイドFMに対応しており、主な仕様ではFM周波数帯域が76～95MHzまであります。

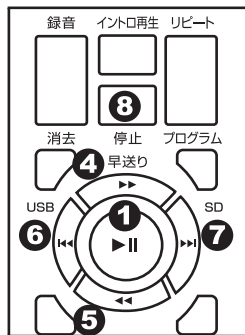
ワイドFMの開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域によって異なりますので、詳しくは各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。



## 音楽CDを聴く

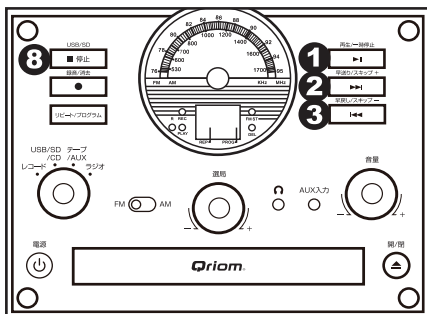
### 基本操作

#### <リモコン>



<b>1</b> 再生/一時停止ボタン	CDを再生します。 CDの再生を一時停止します。 再び再生を開始します。
<b>2</b> 早送り/ スキップ+ボタン	短押し…次のトラックへ移動します。 長押し…早送りします。
<b>3</b> 早戻し/ スキップ-ボタン	短押し…前のトラックへ移動します。 長押し…早戻しします。
<b>4</b> 早送りボタン	早送りします。
<b>5</b> 早戻しボタン	早戻しします。
<b>6</b> スキップ-ボタン	前のトラックへ移動します。
<b>7</b> スキップ+ボタン	次のトラックへ移動します。
<b>8</b> 停止ボタン	CDの再生を停止します。

#### <本体>



### ディスプレイ表示について

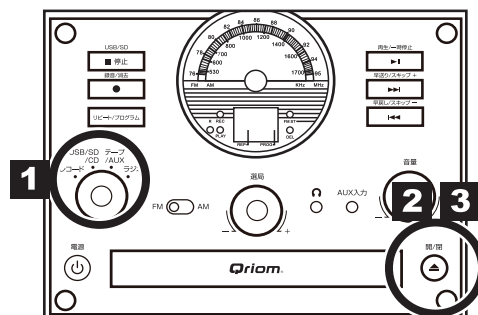
再生中は再生ランプが点灯します。  
一時停止状態では再生ランプが点滅します。



### 音楽CDを聴く

- 1 モード切替つまみをCDに合わせます。
- 2 CD開閉スイッチを押しCDドアを開けて、ディスクをラベルのついた面を上にして、CDトレイの上に置きます。シングルCDを聴く場合は、CDトレイの内側の溝に合わせて置きます。

※モード切替つまみがラジオの位置にある場合、CD開閉スイッチを押してもCDドアは開閉できませんのでご注意ください。

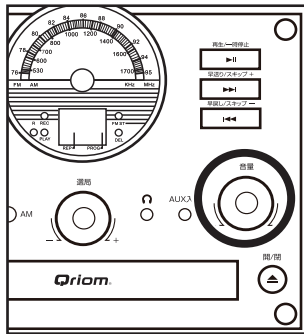


## 5. CDを聴く

**3** CD開閉スイッチを再度押し、CDドアを閉じます。

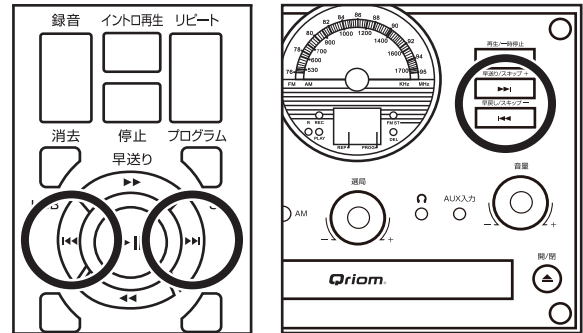
**4** トラック番号1から再生が始まります。

**5** 音量つまみを回して、好みの音量に調節します。

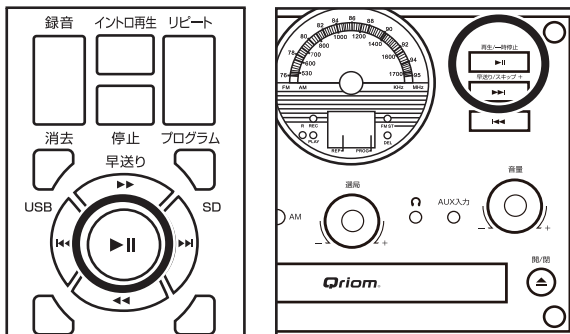


**7** 次のトラックへ移動する場合は、早送り/スキップ+ボタン、リモコンの場合はスキップ+ボタンを短く押します。

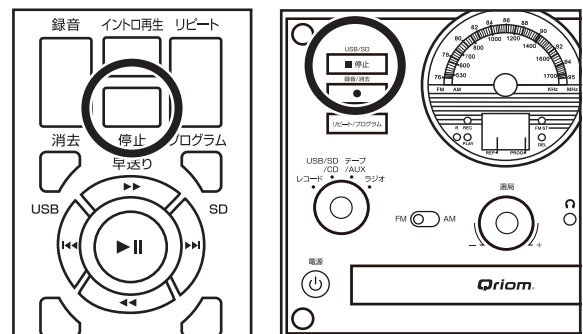
前のトラックへ移動する場合は、早戻し/スキップ-ボタン、リモコンの場合はスキップ-ボタンを短く押します。



**6** 再生を一時停止する場合は、再生/一時停止ボタンを押します。



**8** 再生を停止する場合は、停止ボタンを押します。



※リモコンの10キーボタンを使用すると、再生しているCDのお好きなトラックを呼び出すことができます。例えば3番目の曲を再生したい時は、0⇒3とボタンを押すと、約5秒後に3曲目に移動します。また、リモコン下部の-10、+10ボタンを押すと、現在の再生トラックから-10、+10されたトラックに移動します。10以上移動できない場合に-10、+10ボタンを押すと、最初のトラックが最後のトラックに移動します。

## MP3のCD (CD-R/RW) を聴く

基本操作は前項の音楽CDを参照してください。

△ CD-R/RWは記録状態によっては再生できない場合があります。

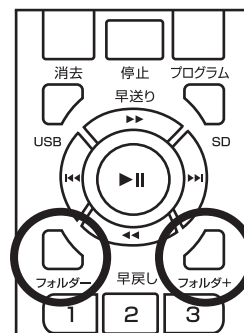
<MP3について>

- MP3形式のファイルで拡張子が「.mp3」または「.MP3」が付加されているファイルを再生できます。
- サンプリング周波数32kHz、44.1kHz、48kHz、ビットレート32kbps～320kbps (VBR対応) のMP3が再生可能です。
- DRM付MP3は再生できません。MP3形式のファイルを作る際は、著作権保護機能を外して作成してください。

## フォルダを選択する

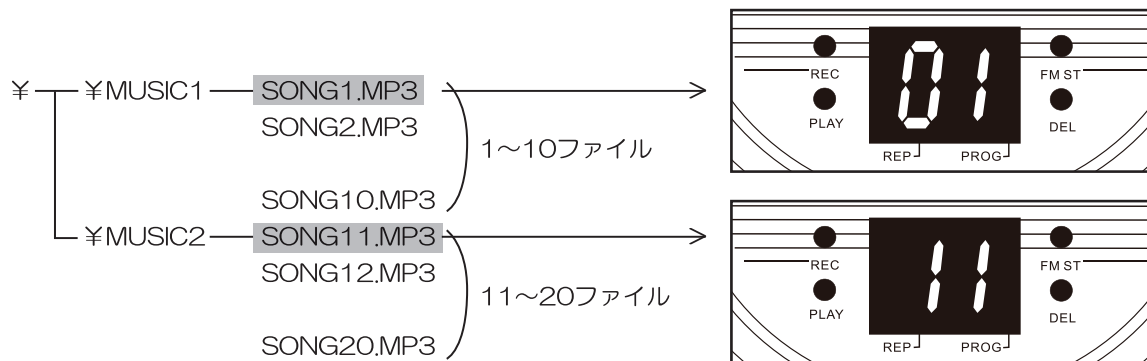
パソコンでフォルダを作成した場合、聴きたい曲が入っているフォルダを選択して聴くことができる便利な機能です。  
 ※フォルダの選択は、ディスクにフォルダが2つ以上ある場合のみ可能です。  
 ※フォルダ名は表示されません。

再生中又は停止中に、リモコンでフォルダ+又はフォルダーボタンを押して、フォルダを選択します。



### <参考>

例えば、下記のようにMP3ファイルを入れたフォルダがある場合、フォルダ+、またはフォルダーボタンを押すと、右図のように各フォルダの先頭にあるファイルに割り振られた番号を表示します。



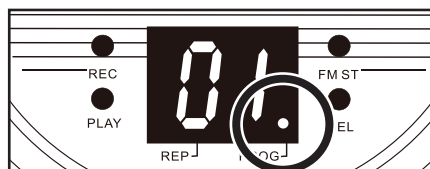
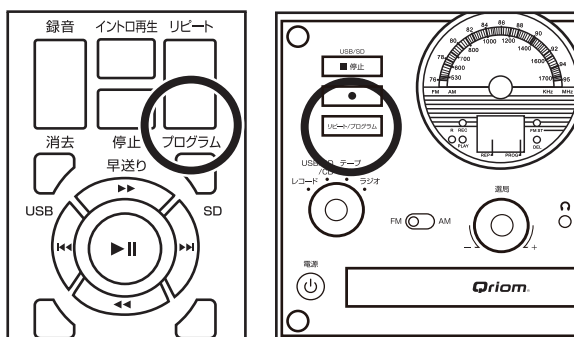
## その他の機能

※音楽CD、<MP3>CD共通の機能です。

### プログラム再生

最大64曲までのトラックを好みの順番でプログラム再生することができます。  
65曲以上をプログラムすると、1番目に設定したトラックから順に上書きされます。

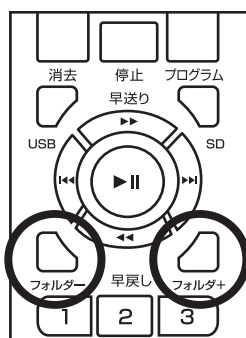
- 1** 停止状態でプログラムボタンを押すと、液晶画面に01と点滅して表示されます。



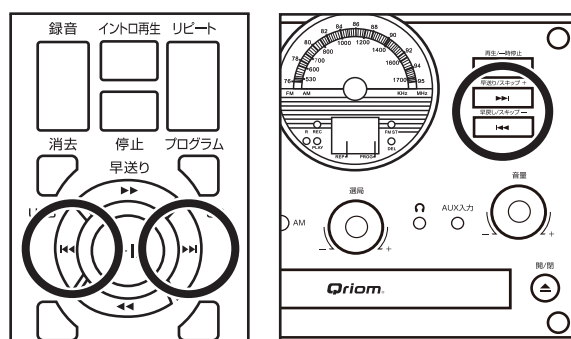
プログラム設定中はプログラムランプが点滅、  
プログラム再生中はプログラムランプが点灯します

- 2** リモコンのフォルダ+ボタン又はフォルダーボタンを押して、フォルダを選択します。

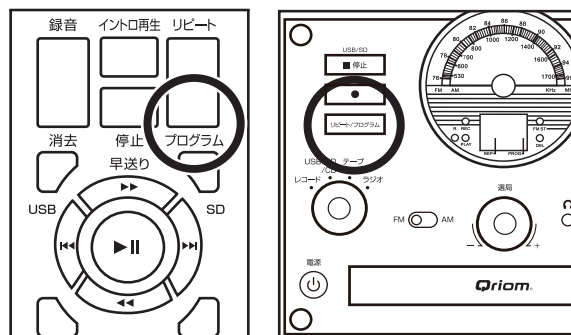
※フォルダはMP3再生時のみ選択可能です。  
※ディスクにフォルダが2つ以上ある場合のみフォルダ選択が可能になります。



- 3** 早送り/スキップ+ボタン又は早戻し/スキップ-ボタン、リモコンの場合はスキップ+ボタン又はスキップ-ボタンを押して、好みのトラックを選択します。



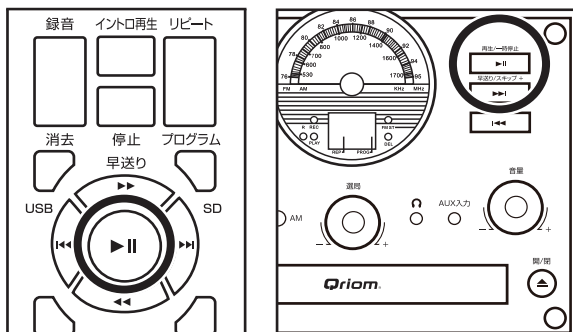
- 4** プログラムボタンをもう一度押すと、選択した曲がプログラム再生に登録されます。



- 5** **2**～**4**を繰り返して、1～最大64のプログラムメモリーに選択したトラックを追加します。

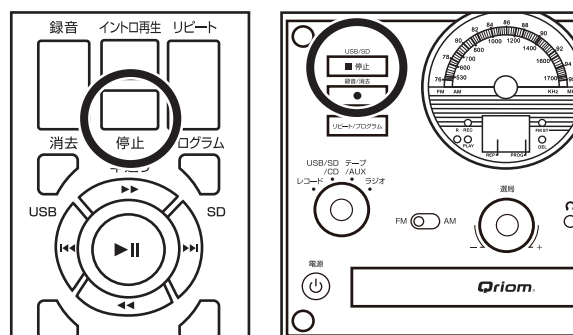
## 5. CDを聴く

- 6** プログラムの設定が終わったら、再生/一時停止ボタンを押します。プログラムした順番にディスクが再生されます。



- 7** プログラム再生を終了する場合は、停止ボタンを再生中2回、停止中1回押します。

※他のモードへ移動、または電源を切った場合でも同様にプログラム再生は終了します。



プログラム再生中はイントロ再生できませんのでご了承ください。

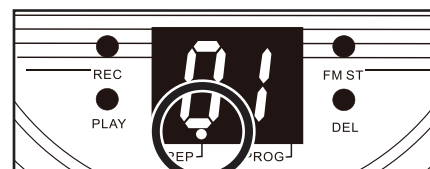
### リピート再生

CDやMP3ディスクを再生中もしくは再生前にリピートボタンを押すと、以下のように再生が切り替わります。

一度リピートボタンを押すと、現在表示されている曲がリピート再生されます。(一曲リピート)

もう一度押すと、全曲が繰り返し再生されます。(全曲リピート)

三回目を押すとリピートモードが解除されます。

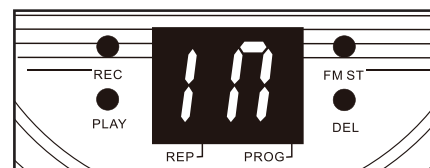
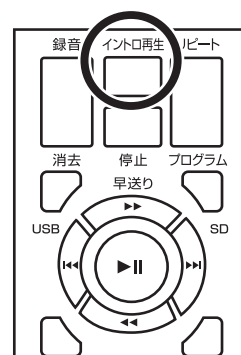


一曲リピート再生中はリピートランプが点滅し、全曲リピート再生中はリピートランプが点灯します。

### イントロ再生

リモコンのイントロ再生ボタンを押すと各曲の最初の10秒が再生され次の曲に切り替わります。

プログラム再生中、リピート再生中はイントロ再生は機能しません。ご了承ください。



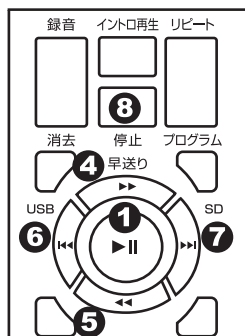
## USBメモリー／SDカードを聴く

本機は、本機やパソコン等でUSBメモリーやMP3プレーヤー（フラッシュメモリータイプ）又はSDカードやSDアダプターを使用したマイクロSDに記録したMP3音楽ファイルを再生し、聴くことができます。

※ 本機で再生することができるメモリーのその他注意事項に関してはP24、25を参照してください。

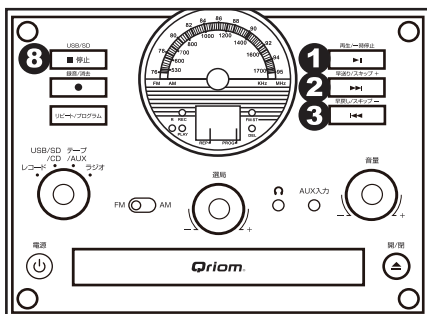
### 基本操作

#### <リモコン>



<b>1</b> 再生／一時停止ボタン	USB/SDを再生します。 USB/SDの再生を一時停止します。 再び再生を開始します。
<b>2</b> 早送り／スキップ+ボタン	短押し・・・次のトラックへ移動します。 長押し・・・早送りします。
<b>3</b> 早戻し／スキップ-ボタン	短押し・・・前のトラックへ移動します。 長押し・・・早戻しします。
<b>4</b> 早送りボタン	早送りします。
<b>5</b> 早戻しボタン	早戻しします。
<b>6</b> スキップ-ボタン	前のトラックへ移動します。
<b>7</b> スキップ+ボタン	次のトラックへ移動します。
<b>8</b> 停止ボタン	USB/SDの再生を停止します。

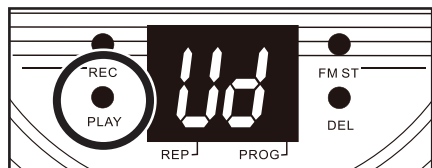
#### <本体>



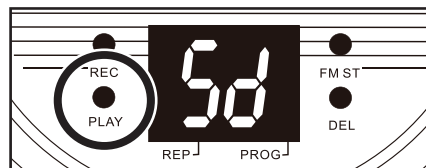
### ディスプレイ表示について

再生中は再生ランプが点灯します。  
一時停止中は再生ランプが点滅します。

#### <USBの時>



#### <SDの時>

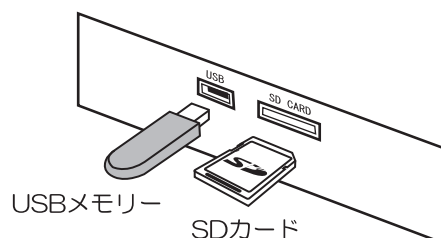


## 6. USBメモリー／SDカードを聴く

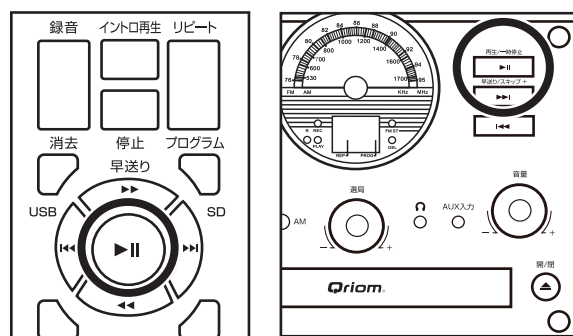
- 1** USBメモリーを本機の右側面にあるUSB端子に接続します。

SDカードは本機の右側面にあるSDカードスロットに差し込みます。

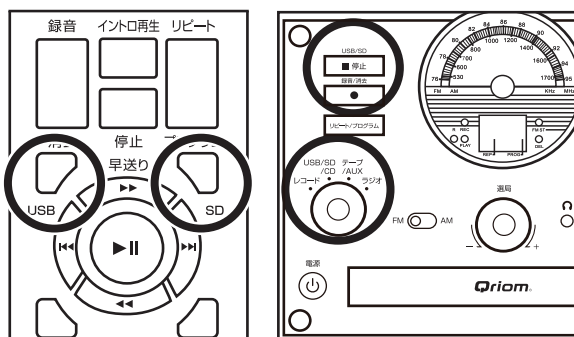
※SDカードの向きに注意して挿入してください。



- 4** 再生を一時停止する場合は、再生/一時停止ボタンを押します。

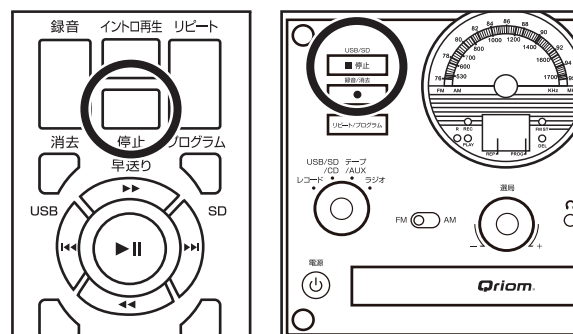


- 2** モード切替つまみをUSB/SD/CDに合わせて、USB/SDボタンを長押し、リモコンではUSBボタン又はSDボタンを押し再生したい方を選択します。



- 3** 最初のトラックから自動的に再生します。

- 5** 再生を停止する場合は、停止ボタンを押します。



※スキップ+ボタン、スキップ-ボタンやリモコンの10キーボタンを使用すると、再生しているUSB、SDのお好きなトラックを呼び出すことができます。「P18 音楽CDを聴く」をご参照ください。

### フォルダ選択、プログラム、リピート、イントロ再生

USBメモリー／SDカードのフォルダ選択、プログラム再生、リピート又はイントロ再生モードの再生の手順はP19～をご参照ください。

<ヒント>再生の順番について

本機はトラック（ファイル）を録音（コピー）した順にファイルを再生します。

### ⚠ USBメモリーのお取り扱いについて

本機では、USBマストレージクラス対応のUSBメモリー又はMP3プレーヤーが使用できます。

#### USBメモリーの取り扱いについて

- 本機にUSBメモリーは付属しておりません。
- 再生時間は再生ファイル、使用方法により異なる場合があります。
- データ転送速度は使用環境によって異なる場合があります。
- USBメモリーのメーカーや種類によっては使用できないことがありますのであらかじめご了承ください。
- USBメモリーがフォーマットされていない場合、本機で正常に録音／再生ができないことがあります。あらかじめパソコンでフォーマットしてからご使用ください。

#### 使用できるUSBメモリーについて

- 市販品のUSBメモリーをお買い求めください。
- USBメモリー最大128GBまで対応可能です。USBメモリーのメーカーや種類によって正常に動作しない場合や、処理速度が遅くなる場合がありますのでご了承ください。

#### 再生について

- 本機で再生可能な形式は、MP3形式です。
- USBマストレージクラス対応品でも、再生できない場合があります。  
(内蔵メモリ増設スロット (SDカードなど) を兼ね備えた機器)  
(収録されている音楽ファイルの形式がMP3以外の場合)  
(収録されている音楽ファイルの形式がMP3であっても、DRM付き (著作権保護されている) ファイルなど)
- iPodシリーズ (アップルコンピューター)、ウォークマン (ソニー)、D-SNAP (パナソニック) は、USB接続しても再生できません。これは各社が独自に採用しているフォーマットおよび著作権保護技術による制度です。ご了承ください。

#### 録音について

- 本機で録音された場合は、MP3形式で保存されます。
- 録音している際には絶対にカードを取り出したり、電源を切ったりコードを抜いたりしないでください。USBメモリー及び内部の音楽データが破損する恐れがあります。
- CCDなどコピー制限情報などが埋め込まれている場合は録音できないことがあります。
- USBメモリーへの録音は記録互換上、まれに音飛びが生じる場合があります。これはUSBメモリーの特性により発生するものであり、本機の故障ではありません。お客様が記録されたUSBメモリーの記録内容に関しましては、正しく録音されていることを確認していただくことをお勧め致します。

### ⚠ SDカードのお取り扱いについて

#### SD、SDHCカード (※以下、SDカード) の取り扱いについて

##### ⚠ ご注意

- 本機にSDカードは付属しておりません。市販品のSDカードをお買い求めください。
- サンディスク社製を推奨いたします。



- 再生時間は再生ファイル、使用方法により異なる場合があります。
- データ転送速度は使用環境によって異なる場合があります。
- SDカードのメーカーや種類によっては使用できないことがありますのであらかじめご了承ください。
- SDカードがフォーマットされていない場合、本機で正常に録音／再生ができないことがあります。あらかじめパソコンでフォーマットしてからご使用ください。

### <SDカードを本機に認識させる際のご注意>

#### ⚠️ ご注意

本機の電源が入っている状態でSDカードを挿入すると簡単に認識します。電源を入れる前からSDカードを入れている場合は、電源を入れた時にSDカードが認識されていない可能性があります。

その際は電源が入っている状態でいったんSDカードを取り出し、再度入れると簡単に認識します。

#### ⚠️ 使用できるSD、SDHCカードについて

本機ではSD、SDHCカードが使用できます。（別売・市販品）

※SDカード最大2GB、SDHCカード最大32GB（CLASS10）まで対応可能です。SD、SDHCカードのメーカーや種類によって正常に動作しない場合や、処理速度が遅くなる場合がありますのでご了承ください。

※マイクロSD、マイクロSDHCカードはSDアダプター（別売・市販品）に挿入して使用することが可能です。

#### 再生について

- 本製品で再生可能な形式はMP3形式です。
- 収録されている音楽ファイルの形式がMP3であっても著作権が保護されているファイルの場合は再生できません。  
※P41 製品仕様の再生ファイル形式を参照してください。

#### 録音について

- 録音している際には絶対にカードを取り外したり、電源を切ったりコードを抜いたりしないでください。SDカードに入っている音楽データが破損する恐れがあります。
- SDカードへの録音は記録互換まれに音飛びなどが生じる場合があります。これはSDカードの特性により発生するもので、本機の故障ではありません。お客様が記録された内容については、SDカードに正しく録音されているか確認していただくことをお勧めいたします。

#### ⚠️ ご注意

- 使用後取り出された後は必ずケースに入れて保管してください。
- 分解・改造をしないでください。分解・改造を行ったカードを本機に挿入すると故障の原因となります。
- 貼られているラベルははがさないでください。
- ラベル・シールを貼らないでください。
- 金属端子部分に触らないでください。

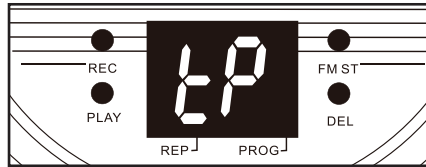
  SDロゴはパナソニック(株)、SanDisk Corporation、(株)東芝の登録商標です。

本機の不具合によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いません。また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても、補償については当社では責任を負いません。あらかじめご了承ください。  
本機、SDカード、USBメモリー及びパソコンの不具合により、転送やダウンロードができなかった場合、またはファイルが破損、消去された場合、ファイル内容の補償はいたしません。

## カセットテープを聴く

本機は録音されたカセットテープを再生し、聴くことができます。  
 ※カセットテープに音声を録音する機能はございませんのでご注意ください。

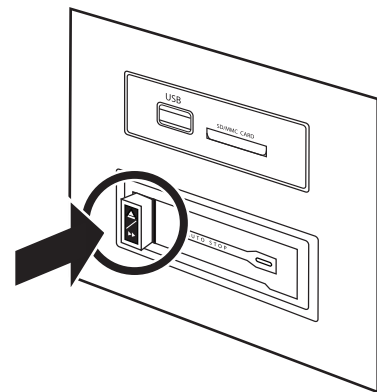
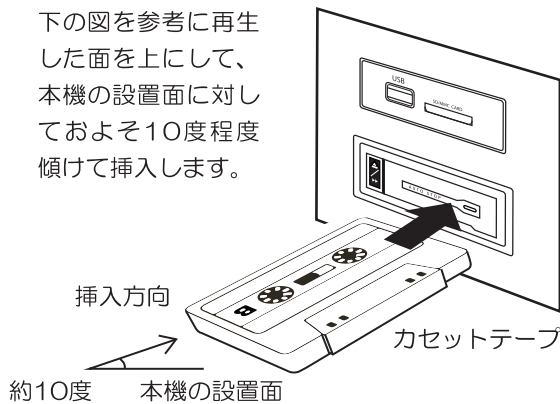
### ディスプレイ表示について



- 1 本機の右側面にあるカセット挿入口にカセットテープを差し込みます。  
 ※向きに注意してカチッと音がするまでカセットテープを挿入してください。

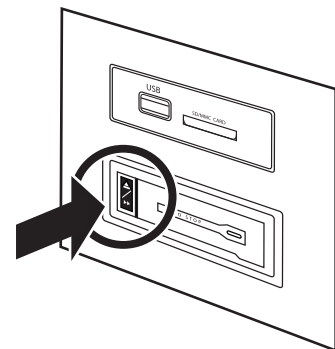
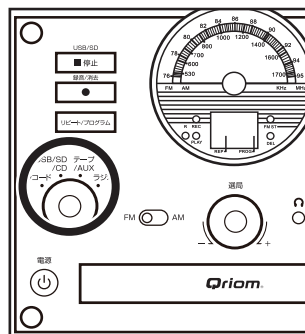
- 4 カセットテープを早送りしたい場合は、カセット取り出しボタンを一段階軽く押します。  
 早送りから通常再生に戻りたいときは、カセット取り出しボタンを軽く押してから指を離してください。

下の図を参考に再生した面を上にして、本機の設置面に対しておよそ10度程度傾けて挿入します。



- 2 モード切替つまみでテープ/AUXを選択します。  
 ※AUX入力がある場合、AUX入力が優先されますのでテープを聴く際はAUX入力からケーブルを外してください。

- 5 カセットテープを取り出したいときは、カセット取り出しボタンを一番奥まで強く押し込みます。



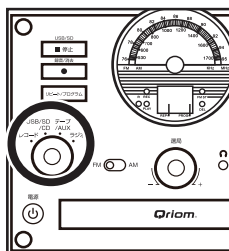
- 3 カセットテープを自動的に再生します。

※本機のカセットプレーヤーはオートリバース及び停止はできませんのでご注意ください。  
 停止する際はカセットを取り出してください。

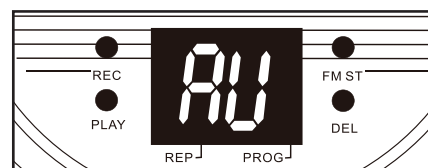
## AUX入力端子に色々な機器を接続して聴く

AUX入力端子に色々な外部機器を接続して、本機のスピーカーから聴くことができます。

モード切替つまみでテープ/AUXを選択します。

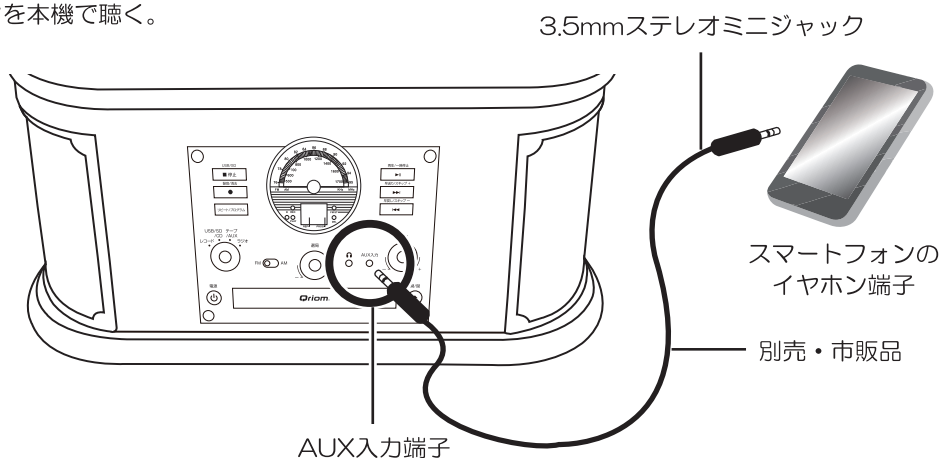


### ディスプレイ表示について



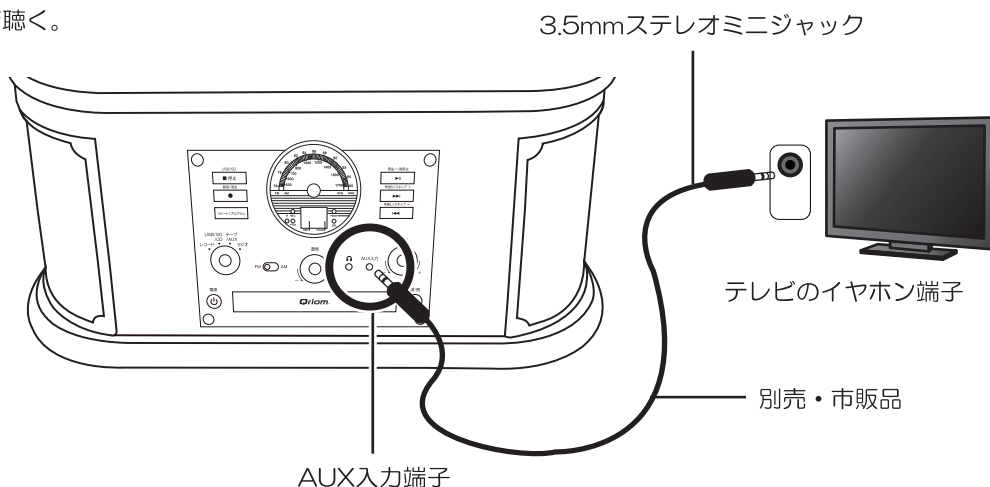
### 接続例1

スマートフォンを本機で聴く。



### 接続例2

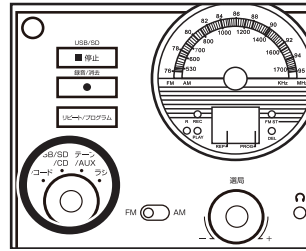
テレビを本機で聴く。



### △注意

本体の電源を入れたままAUX入力にラインケーブルを接続すると、スピーカーより大きい雑音が発生する場合があります。スピーカーを損傷する原因となりますので、電源を切った状態でラインケーブルを接続してください。

**1** モード切替つまみをテープ/AUXに合わせます。



**2** 接続した外部の再生ボタンを押すと、本機のスピーカーから再生することができます。  
※音量が大きすぎて音割れになってしまう場合は、外部機器のボリュームを音割れしないところまで下げてください。

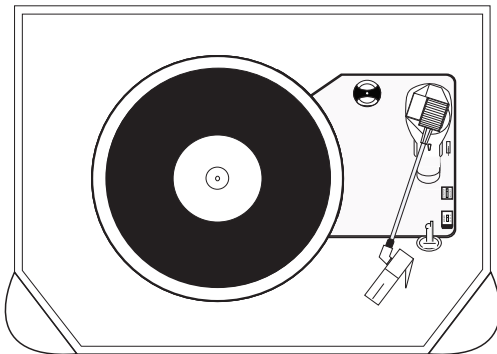
## レコードからUSBメモリー/SDカードに録音する

本機は、本機で再生できるレコードやCD、ラジオ等をUSBメモリーやMP3プレーヤー（フラッシュメモリータイプ）、SDカードに簡単に録音することができます。

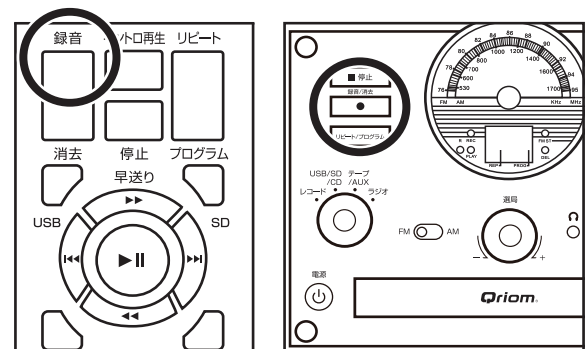
※ 本機で使用することができるメモリーの種類やその他の注意事項に関してはP24、25をご参照ください。

USBメモリー/SDカードは別売となっておりますので、市販品をお買い求めください。電気店等でお求め頂けます。

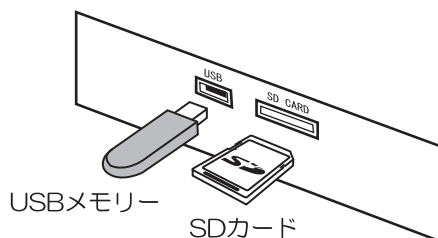
**1** P14「レコードを聴く」を参照して、レコードを再生する準備をします。  
(レコードを回転させた状態にします。)



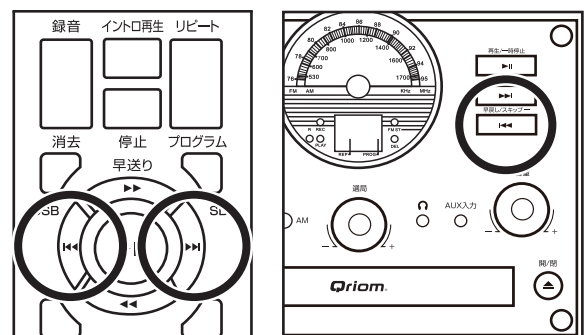
**3** リモコン又は本体の録音ボタンを押します。



**2** USBメモリーを本機の右側面にあるUSB端子に接続します。  
SDカードは本機の右側面にあるSDカードスロットに差し込みます。  
※ラベル面を上にして挿入します。



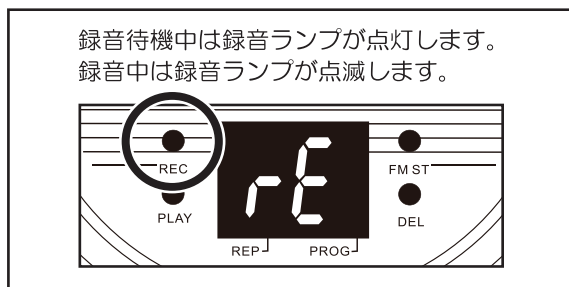
※USBメモリーとSDカード両方が本体に接続されている場合、ディスプレイに保存先の選択画面が表示されます。  
本体の早送り/スキップ+ボタン又は早戻し/スキップ-ボタン、リモコンではスキップ+ボタン又はスキップ-ボタンを押して、USBメモリー又はSDカードを選択します。  
その後録音ボタンを再度押します。



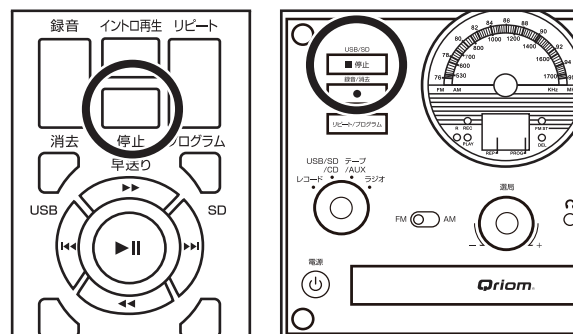
## 9. 録音する

- 4** 録音ランプが点灯し、ディスプレイに **RE** と表示されると録音待機状態となります。約5～10秒後に録音ランプが点滅し、モード表示が **PH** に変わると、録音を開始します。

録音がスタートしたら、すぐにトーンアームレバーを下に操作して針を落とし、レコードを再生させます。



- 5** レコードの再生が終わり、録音を停止する時は、リモコン又は本体の停止ボタンを押します。



### < 参考 >

レコードからUSBメモリー/SDカードに録音して作成されたファイルの保存形式について

レコードからUSBメモリー/SDカードで録音すると、自動的に「RECORD」フォルダとその中に「LINE\_IN」フォルダが作成されます。ファイルは全てそのフォルダ内に保存され、ファイル名は「FILE\_xxx.MP3」（xxxは3桁の数字）という名前で順番に数字が増えて保存されます。ファイル形式はMP3です。レコードとカセット、ラジオ、AUX入力からの録音は同じフォルダに保存され、同様にファイル名が作成されます。

### △ 注意

レコードの録音は全て手動になります。

## 音楽CDからUSBメモリー／SDカードに録音する

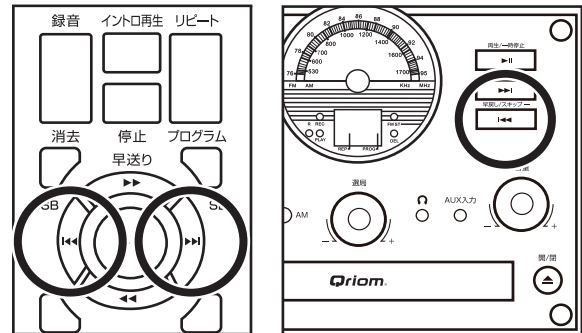
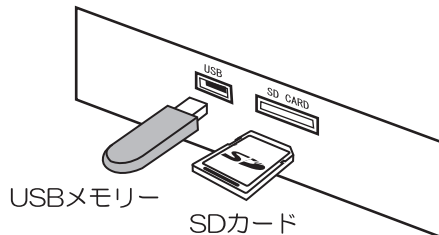
### アルバムを全曲録音する

アルバムの曲を1曲ずつ1ファイルごとに分けて、全曲、自動的に録音する方法です。

- 1 CDの自動再生開始後、停止ボタンを押して停止させます。(P17参照)

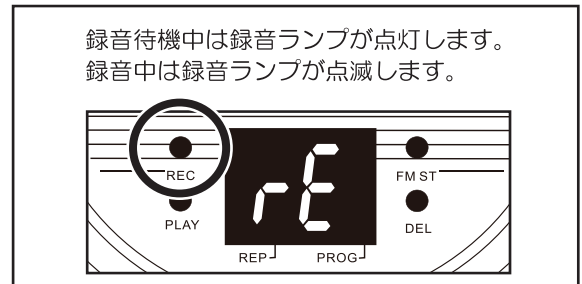
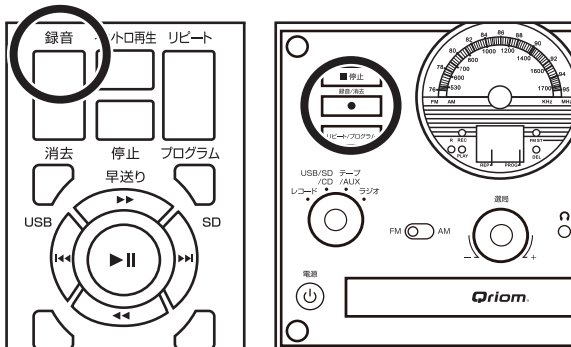
USBメモリーを本機の右側面にあるUSB端子に接続します。SDカードは本機の右側面にあるSDカードスロットに差し込みます。

※ラベル面を上にして挿入します。



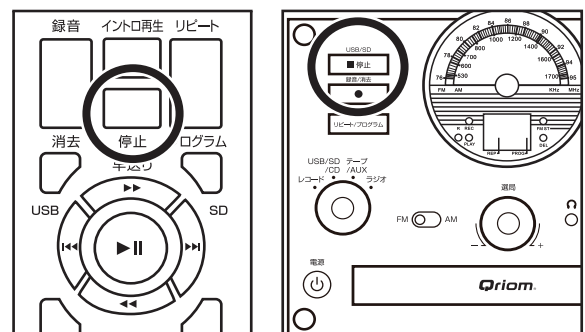
- 3 録音ランプが点灯し、ディスプレイに「RE」と表示されてから5～10秒後、録音ランプが点滅、表示がトラック番号に変わると、自動的に録音を開始します。

- 2 リモコン又は本体の録音ボタンを押します。



※ USBメモリーとSDカード両方が本体に接続されている場合、ディスプレイに保存先の選択画面が表示されます。本体の早送り/スキップ+ボタン又は早戻し/スキップ-ボタン、リモコンではスキップ+ボタン又はスキップ-ボタンを押して、USBメモリー又はSDカードを選択します。その後録音ボタンを再度押します。

- 4 全ての曲の再生が終わると、自動的に録音を終了します。途中で強制的に録音を停止させたい場合は、リモコン又は本体の停止ボタンを押します。



### △ 注意

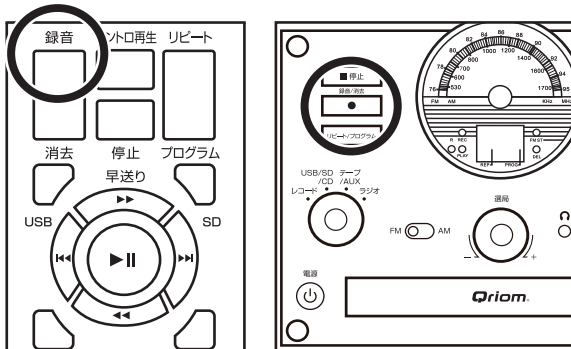
CDの録音は自動的に曲の最初から録音されるため、曲の途中からは録音できません。ご了承ください。

## アルバムの中の1曲だけ録音する

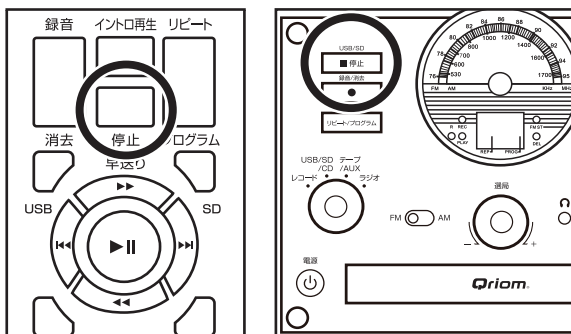
P30「アルバムを全曲録音する」から**1**を参照して準備します。

- 録音したい曲を再生します。(P18参照)  
USBメモリー、SDカードともに接続されている場合は、P30の※を参照して録音先を決定します。

- リモコン又は本体の録音ボタンを押すと、自動的に再生を停止し、録音待機の状態となります。5~10秒後、自動的にその曲の始めから録音が始まります。



- 録音を終了すると自動的に停止します。  
途中で強制的に停止させたい場合はリモコン又は本体の停止ボタンを押します。

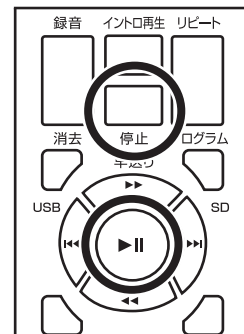
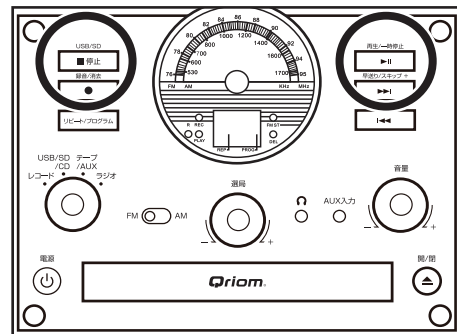


## アルバムの曲をプログラムして録音する

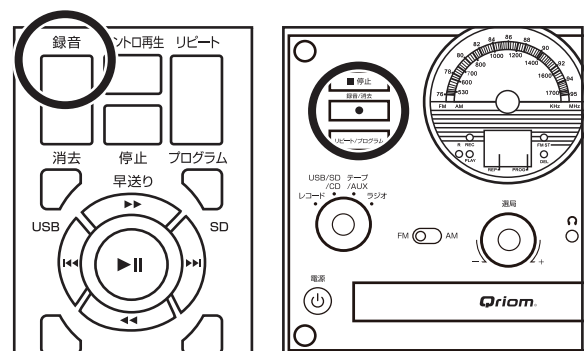
P30「アルバムを全曲録音する」から**1**を参照して準備します。

- 録音したい曲をプログラム再生の手順で設定します。(P20参照)  
USBメモリー、SDカードともに接続されている場合は、P30の※を参照して録音先を決定します。

- プログラムを設定したら、リモコン又は本体の再生ボタンを押します。すぐに停止ボタンを押して、再生を停止します。



- リモコン又は本体の録音ボタンを押すと、自動的にプログラムした曲だけを録音します。録音を終了すると、自動的に停止します。  
途中で強制的に停止させたい場合はリモコン又は本体の停止ボタンを押します。



### < 参考 >

音楽CDからUSBメモリー/SDカードに録音して作成されたファイルの保存形式について

CDからUSBメモリー、SDカードで録音すると、自動的に「RECORD」フォルダとその中に「CDIN」フォルダが作成されます。ファイルは全てそのフォルダ内に保存され、ファイル名は「FILE\_xxx.MP3」（xxxは3桁の数字）という名前で順番に数字が増えて保存されます。ファイル形式はMP3です。

## MP3のCD（CD-R/RW）からUSBメモリー/SDカードにコピーする

### MP3のCDから全曲コピーする

P30「アルバムを全曲録音する」を参照してください。（同様の手順です）

### MP3のCDから1曲だけコピーする

P31「アルバムの中の1曲だけ録音する」を参照してください。（同様の手順です）

### MP3のCDをプログラムしてコピーする

P31「アルバムの曲をプログラムして録音する」を参照してください。（同様の手順です）

## USBメモリー⇒SDカード、SDカード⇒USBメモリーへコピーする

本機を使ってUSBメモリーからSDカードに、又はSDカードからUSBメモリーにMP3ファイルをコピーすることができます。本体またはリモコンのSD/USBボタンを押してUSBメモリー又はSDカード再生モードに切り替えてからファイルを選択し、録音ボタンを押します。

手順はP22～23「USBメモリー/SDカードを聴く」を参考にコピーしたいファイル選択し、P30 **2**～31「音楽CDからUSB/SDに録音する」と同様の手順でコピーできます。

### △ 注意

本機でCDを録音したファイルや、著作権が保護されたファイルはコピーできませんのでご了承ください。

### < 参考 >

MP3からUSBメモリー/SDカードにコピーして作成されたファイルの保存形式について

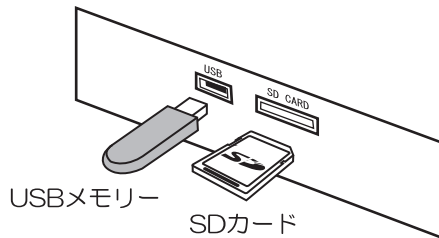
MP3からUSBメモリー/SDカードにコピーすると、自動的に「RECORD」というフォルダとその中に「COPY」というフォルダがUSBメモリー/SDカード内に作成されます。ファイルは全てそのフォルダ内に保存され、ファイル名は「FILE\_xxx.MP3」（xxxは3桁の数字）という名前で順番に数字が増えて保存されます。ファイル形式はMP3です。



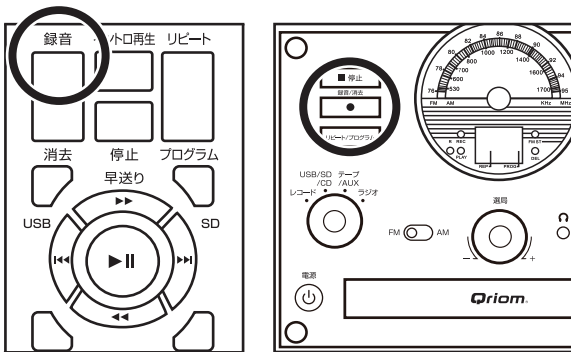
## カセットテープからUSBメモリー/SDカードに録音する

**1** USBメモリーを本機の右側面にあるUSB端子に接続します。SDカードは本機の右側面にあるSDカードスロットに差し込みます。

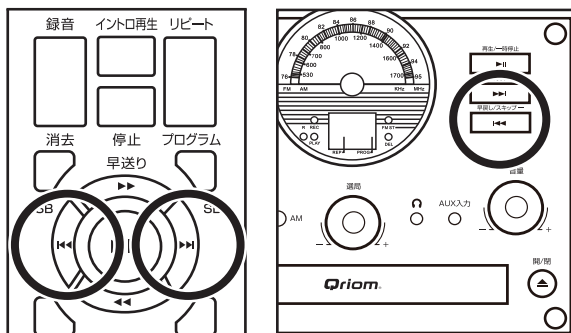
※ラベル面を上にして挿入します。



**2** カセットテープを取り出した状態でモード切替つまみをテープ/AUXに合わせ、リモコン又は本体の録音ボタンを押します。

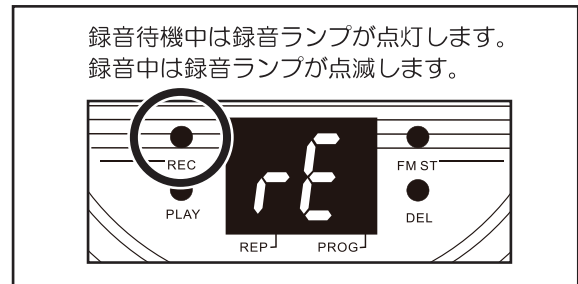


※ USBメモリーとSDカード両方が本体に接続されている場合、ディスプレイに保存先の選択画面が表示されます。本体の早送り/スキップ+ボタン又は早戻し/スキップ-ボタン、リモコンではスキップ+ボタン又はスキップ-ボタンを押して、USBメモリー又はSDカードを選択します。その後録音ボタンを再度押します。



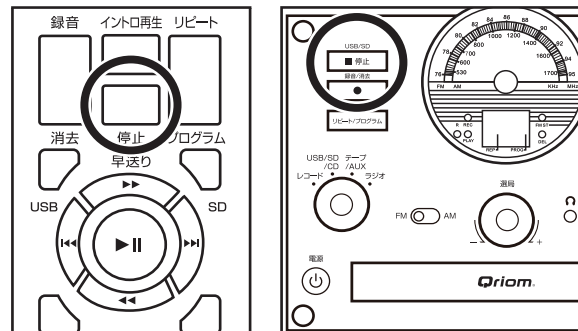
**3** 録音ランプが点灯し、ディスプレイに **REC** と表示されると録音待機状態となります。

5～10秒後に録音ランプが点滅、ディスプレイ表示が **LP** に変わると、録音を開始します。



**4** 録音したいカセットを挿入します。(P26参照)

**5** 録音を終了する場合は、リモコン又は本体の停止ボタンを押します。



<ヒント>

カセットを聴いているときに、録音ボタンを押してすぐに録音することもできます。

※ カセットの停止機能はありませんのでご注意ください。停止する場合は、カセットを抜いてください。

## <参考>

カセットテープからUSBメモリー/SDカードに録音して作成されたファイルの保存形式について

カセットテープからUSBメモリー/SDカードに録音すると、自動的に「RECORD」フォルダとその中に「LINE\_IN」フォルダが作成されます。ファイルは全てそのフォルダ内に保存され、ファイル名は「FILE\_xxx.MP3」（xxxは3桁の数字）という名前で順番に数字が増えて保存されます。ファイル形式はMP3です。レコードとカセット、ラジオ、AUX入力からの録音は同じフォルダに保存され、同様にファイル名が作成されます。

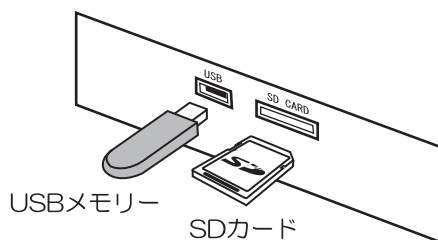
### △注意

カセットテープの録音は全て手動になります。カセットテープから録音したファイルを再生すると、実際の音声に比べてノイズが目立つ場合がありますが、本機の故障ではありませんのでご了承ください。本機は他の媒体からカセットテープへ録音することはできませんのでご了承ください。

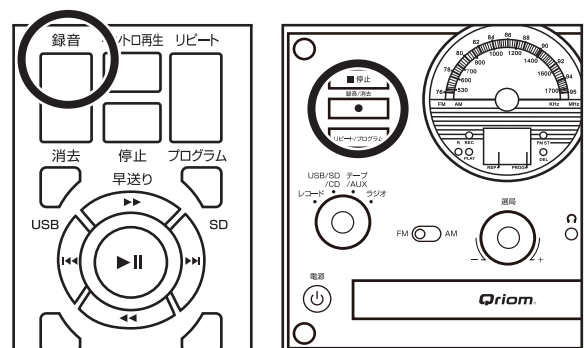
## AUX入力端子からUSBメモリー/SDカードに録音する

- 1 P27「AUX入力端子に色々な機器を接続して聴く」を参照して、接続した外部機器を再生する状態にします。（まだ再生しません）

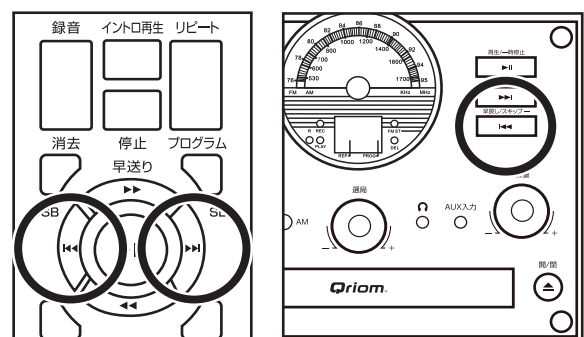
- 2 USBメモリーを本機の右側面にあるUSB端子に接続します。  
SDカードは本機の右側面にあるSDカードスロットに差し込みます。  
※ラベル面を上にして挿入します。



- 3 リモコン又は本体の録音ボタンを押します。

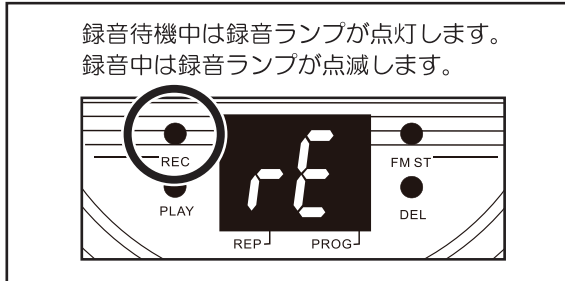


※ USBメモリーとSDカード両方が本体に接続されている場合、ディスプレイに保存先の選択画面が表示されます。本体の早戻し/スキップボタン、リモコンではスキップ+ボタン又はスキップボタンを押して、USBメモリー又はSDカードを選択します。  
その後録音ボタンを再度押します。

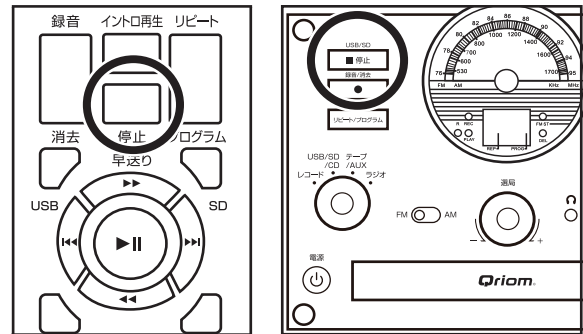


## 9. 録音する

- 4** 録音ランプが点灯し、ディスプレイに **RE** と表示されると録音待機状態となります。  
約5～10秒後に録音ランプが点滅、ディスプレイ表示が **RU** に変わると、録音を開始します。



- 6** 録音を停止する時は、リモコン又は本体の停止ボタンを押します。



- 5** 録音がスタートしたら、すぐに接続した外部機器を再生します。これで録音の状態になります。

### < 参考 >

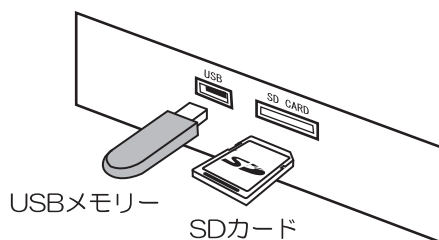
AUX入力からUSBメモリー/SDカードに録音して作成されたファイルの保存形式について

AUX入力からUSBメモリー/SDカードに録音すると、自動的に「RECORD」フォルダとその中に「LINE\_IN」フォルダが作成されます。ファイルは全てそのフォルダ内に保存され、ファイル名は「FILE\_XXX.MP3」（XXXは3桁の数字）という名前で順番に数字が増えて保存されます。ファイル形式はMP3です。レコードとカセット、ラジオ、AUX入力からの録音は同じフォルダに保存され、同様にファイル名が作成されます。

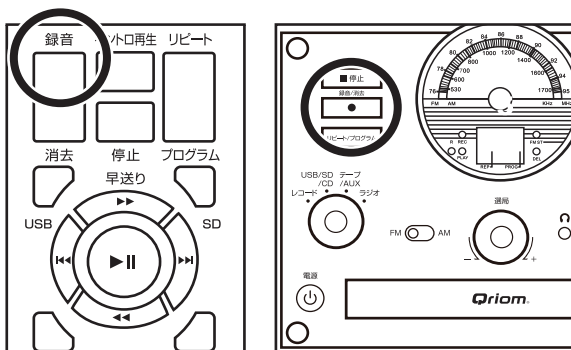
## ラジオからUSBメモリー/SDカードに録音する

**1** P16「ラジオを聴く」を参照して、録音したい放送局を受信します。

**2** USBメモリーを本機の右側面にあるUSB端子に接続します。  
SDカードは本機の右側面にあるSDカードスロットに差し込みます。  
※ラベル面を上にして挿入します。



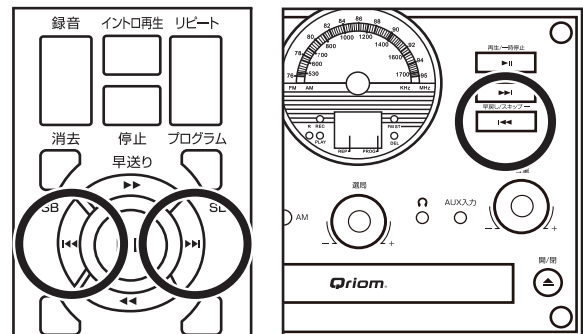
**3** リモコン又は本体の録音ボタンを押します。



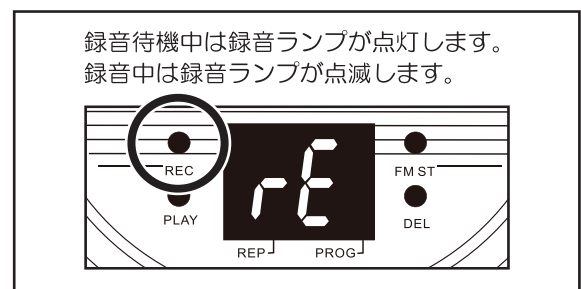
※USBメモリーとSDカード両方が本体に接続されている場合、ディスプレイに保存先の選択画面が表示されます。本体の早送り/スキップ+ボタン又は早戻し/スキップ-ボタン、リモコンではスキップ+ボタン又はスキップ-ボタンを押して、USBメモリー又はSDカードを選択します。その後録音ボタンを再度押します。

### < 参考 >

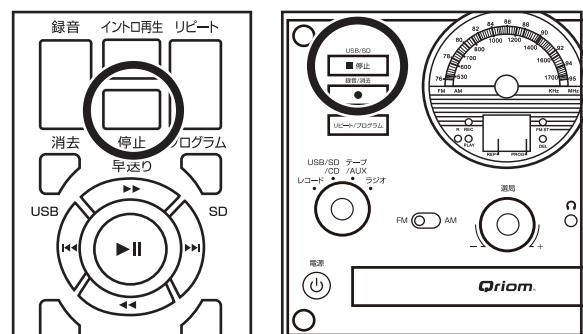
ラジオからUSBメモリー/SDカードに録音して作成されたファイルの保存形式について  
ラジオからUSBメモリー/SDカードに録音すると、自動的に「RECORD」フォルダとそこに「LINE\_IN」フォルダが作成されます。ファイルは全てそのフォルダ内に保存され、ファイル名は「FILE\_XXX.MP3」（XXXは3桁の数字）という名前で順番に数字が増えて保存されます。ファイル形式はMP3です。レコードとカセット、ラジオ、AUX入力からの録音は同じフォルダに保存され、同様にファイル名が作成されます。



**4** 録音ランプが点灯し、ディスプレイに「RE」が表示されると録音待機状態となります。約5～10秒後に録音ランプが点滅し、録音を開始します。



**5** 録音を停止する時は、リモコン又は本体の停止ボタンを押します。



### △注意

ラジオの録音は全て手動になります。ラジオから録音したファイルを再生すると、実際の音声に比べてノイズが目立つ場合がありますが、本機の故障ではありませんのでご了承ください。

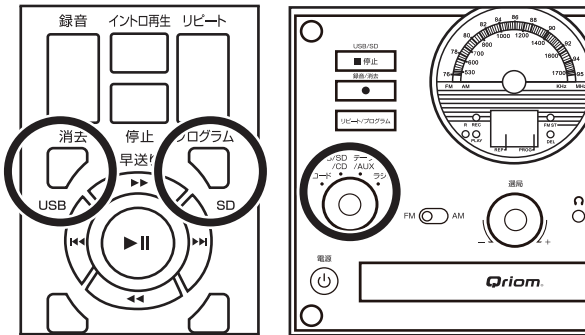
### △注意

全てのモードで録音時の日付の設定はできませんのでご了承ください。

## USBメモリー/SDカードから音楽ファイルを消去する

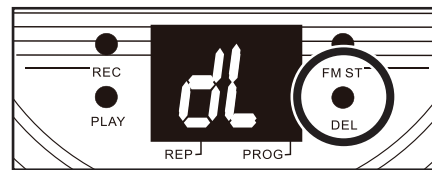
USBメモリーが本機に接続されているか、又はSDカードが本機に挿入されていることを確認してください。

- 1 モード切替つまみをUSB/SD/CDに合わせ、USB/SDボタンを長押しして消去したいデータのある方を選びます。リモコンではUSBボタン、SDボタンを押して選択します。

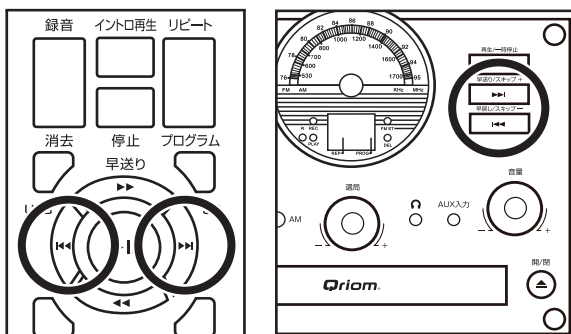


- 3 本体の録音、消去ボタンを長押しするか、リモコンの消去ボタンを押します。ディスプレイに **dl** と表示され、消去ランプが点滅します。

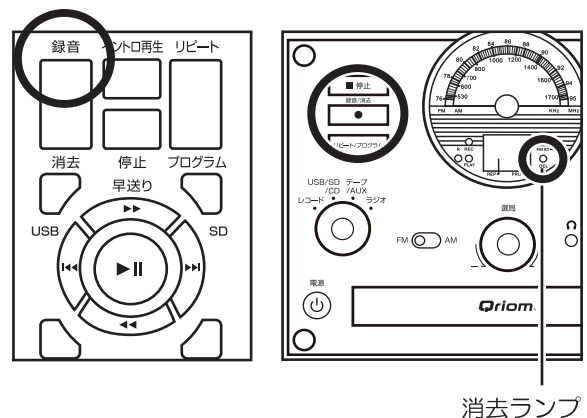
消去するファイルを選択すると遅い点滅が始まり、消去を実行すると早い点滅に変わります。消去が完了すると消去ランプは消えます。



- 2 本体の早送り/スキップ+ボタン又は早戻し/スキップ-ボタン、リモコンのスキップ+ボタン又はスキップ-ボタンを押して、消去したいファイルを選択します。



- 4 消去ランプが点滅し始めてから、録音ボタンを押すとデータが消去されます。



### データの取り扱いに関する注意

- パソコンにデータを記録する場合は、著作権法に違反しないよう十分注意してください。当社、および本製品の製造元・流通元・販売元は、本製品が上記のような違反行為に使用された場合、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用に伴い、USB接続によりパソコンに書き込んだデータの消失、毀損等によりお客様に生じた逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見、または予見し得た場合を含みます）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害に関しては、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

### 著作権について

- 市販の音楽CDなどを権利者の承諾なしに複製することは個人で楽しむ以外は著作権法により禁止されています。個人で楽しむ目的以外であっても、作成した音楽データを権利者の承諾なしに第三者に配布することはできません。個人で楽しむ目的で録音した音楽データを、権利者の承諾なしに故意にインターネット上で配布することは、著作権法の「公衆送信権」「送信可能化権」に抵触し、行った場合は法律により処罰の対象になります。

## 故障かな・・・?と思ったら

本製品に問題が発生した場合は、下記のことをチェックしてください。

症 状	原 因	対 処 法
電源が入らない。	電源コードがコンセントに差し込まれていない。	電源コードをコンセントに差し込んでください。
	電源ボタンを押していない。	電源ボタンを奥までしっかり押してください。
内蔵スピーカーから音が出ない。	音量が小さい。	音量つまみを右に回して、音量を大きくしてください。
外部スピーカーから音が出ない。	スピーカーのケーブルを接続していない。	スピーカーのケーブルが正しく本体背面のLINE出力端子に接続されているか確認してください。
レコードが聴けない。	モードがレコードになっていない。	モード切替つまみでレコードモードに切り替えてください。
	回転数が合っていない。	レコードに書いてある回転数に合わせて、速度切替スイッチを設定してください。
	針が劣化している。	替針に交換してください。
レコードの回転が途中で止まる。	オートストップスイッチがオンになっている。	レコードによってはオートストップに対応できない種類がありますので、その際はオートストップスイッチをオフに設定してください。
ラジオの音が聞き取りづらい。	音量が小さい。	音量つまみを右に回して、音量を大きくしてください。
	AMの受信状況があまり良くない。	本体の設置位置や向きを変えてください。
	FMの受信状況があまり良くない。	FMアンテナを伸ばして、位置を変えてください。
CDが動作しない。	CDが逆さまに入れられている。	ラベルを上にして入れ直してください。
	モードがCDになっていない。	モード切替つまみでCDモードに切り替えてください。
	レンズが汚れている。	市販のレンズクリーナーを使ってレンズのクリーニングを行ってください。
	一時停止状態になっている。	再生/一時停止ボタンを押して、再生してください。
CD再生中、曲の途中でスキップする。	CDが汚れている。	柔らかい布や綿棒などでやさしく拭くか、市販のCDクリーナーを使ってCDのクリーニングを行ってください。
USBメモリー/SDカードが認識しない。	モードがUSB/SDになっていない。	モード切替つまみでUSB/SDモードに切り替えてください。
	正しく接続されていない。	正しく接続されているか確認してください。

症状	原因	対処法
USBメモリー/SDカードが認識しない。	対応していないUSBメモリー/SDカードを使用している。	P24～を参照して、本機に合ったUSBメモリー/SDカードを使用してください。
USBメモリー/SDカードに録音できない。	SDカードの書き込みスイッチが「LOCK」になっている。※1	SDカードの「LOCK」を解除してください。
	USBメモリー/SDカードを認識していない。	電源を切ってもう一度最初からやり直してください。又はUSBメモリー/SDカードをフォーマットして最初からやり直してください。
	メモリーがいっぱいになっている。	不要なファイルを消去して、空き容量を増やしてから再度録音してください。
リモコンで操作できない。	リモコンの有効範囲の外で使用している。	P10「リモコンの使い方」を参考にもう一度やり直してください。
	リモコンの電池が消耗している。	電池を交換してください。

※1 SDカードのみ。

注意：CDプレーヤーには自動給油式ベアリングが使用されています。潤滑油を塗布する必要はありません。

## エラーメッセージ一覧表

※本機の異常を表すものではありませんのでご注意ください。

LED表示内容	エラー内容	対処方法
	対応していないUSBメモリー、SDカードを再生しようとしてエラーとなっている。	対応しているUSBメモリー、SDカードをご使用ください。
	CCCD（コピーコントロールCD）やコピーできないファイルを録音しようとしてエラーとなっている。	本機ではCCCDなどの録音はできません。
	CD、USBメモリー、SDカードが入っていない。	CD、USBメモリー、SDカードを入れてください。
	USBメモリー、SDカードにデータが入っていない。	MP3音楽ファイルが入っているUSBメモリー、SDカードを挿入してください。
	USBメモリー、SDカードの容量がいっぱいで録音できない。	USBメモリー、SDカードの中の不要なファイルを消去してから再度録音してください。

## 本機の状態を表すメッセージ一覧表

LED表示内容	メッセージ内容
	録音の待機中です（録音開始までしばらくお待ちください）
	CDトレイを開いた時、開いた状態の時
	CDトレイを閉じた時
	消去の準備中（点滅）、消去中（点灯）
	イントロ再生開始時



## 製品仕様

機能	項目	仕様
ラジオ (チューナー)	受信周波数	FM76MHz~95MHz AM522KHz~1629KHz
CDプレーヤー	ピックアップ	半導体レーザー
	ワウ・フラッター	測定限界以下
	再生フォーマット	CDDA、MP3
	再生可能メディア	CD/CD-R/CD-RW
レコードプレーヤー	対応レコード盤	LP/EP/SP
	回転速度	33 1/3・45・78回転 (3スピード対応)
	交換針	CARTRIDGE (402-M208-015)
カセット	対応カセット	TYPE I~IV (※再生機能のみ対応)
SDカード	再生ファイル形式 (対応ビットレート/ サンプリング周波数)	MP3 32-320Kbps/32、44.1、48KHz
	録音ファイル形式 (対応ビットレート/ サンプリング周波数)	MP3 128Kbps/44.1KHz
USBメモリ	インターフェース	USB3.0
	再生ファイル形式 (対応ビットレート/ サンプリング周波数)	MP3 32-320Kbps/32、44.1、48KHz
	録音ファイル形式 (対応ビットレート/ サンプリング周波数)	MP3 128Kbps/44.1KHz
対応フォルダ数、ファイル数、階層		99個、999個、16層
共通部	スピーカー最大出力	2.5W×2
	アンプ最大出力	1.5W×2
	入出力端子	AUX入力 (3.5mm ステレオミニジャック) / LINE出力 (RCA) / ヘッドフォン出力 (3.5mm ステレオミニジャック)
	電源	AC 100V (50/60Hz) 0.2A
	消費電力	21W
	外径寸法	W445×D335×H235mm
	質量	約6.8kg
	電源コード長	約1.5m
	FMアンテナケーブル長	約2m
	リモコン	単4形乾電池 2本 (別売・市販品)

## 免責事項

- 本製品を運用したあらゆる結果のいかなる影響についても、弊社は一切の責任を負いません。
- 本取扱説明書は株式会社山善が著作権を保有します。
- 株式会社山善の著作物の一部または全部を無断で複製、転写、転載、改変することを禁止します。
- 一般に会社名、製品名は各社の商標または商標登録です。
- 本製品および本取扱説明書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。
- 本製品および本取扱説明書などは、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提として開発・製造されています。
- 本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関して日本国外での技術サポート、アフターサービスなどは行っておりません。あらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書と本製品の異なる部分がございましたら、本製品の仕様を優先させていただきます。

本書の内容につきましては、万全を期しましたが、ご不明な点や誤りなどございましたら、販売店もしくはキュリオムサポートセンターにご連絡ください。

また、上記に関わらず、以下の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ① 弊社の責任によらない製品の損傷、破損、または改造による故障や不具合
- ② 本製品をお使いになって生じたデータの消失または破損
- ③ 本製品のために費やした時間、経費
- ④ 本製品に付随する、または運用の結果もたらされた損害
- ⑤ 本製品によりもたらされるべき、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

※ 本書に乱丁、落丁があった場合はお取り替え致しますので、弊社までご連絡ください。

## 付属品等のオプション販売のご案内

下記の付属品をお買い求めの場合はお取り寄せとなりますので、各販売店にお問い合わせください。他社のレコード製品や市販品の交換用レコード針はご使用になれませんのでご注意ください。

	製品名	型番
1	マルチレコードプレーヤー用リモコン	MRP-RC1
2	マルチレコードプレーヤー用レコード針	MRP-PN1
3	マルチレコードプレーヤー用EPアダプター	MRP-EP1

※ 価格につきましては、販売店にご確認ください。

※ 上記のオプション品は状況により手配できない場合がございますので、販売店にご確認ください。

## お手入れの仕方

### ＜本体の清掃＞

汚れは、ぬるま湯か台所用中性洗剤に浸した柔らかい布を固くしぼって拭き、さらに乾いた布で洗剤が残らないようにお手入れをしてください。

### お 願 い

- お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・化学ぞうきんなどは使用しないでください。破損・変質の原因となります。



- 本体のまる洗いはしないでください。故障の原因となります。



## アフターサービスについて

- この製品は保証書がついております。お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年です。詳細は保証書をご覧ください。
- アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載のお買い上げの販売店かキュリオムサポートセンターにお問い合わせください。

キュリオムサポートセンター：  **0570-00-9106**

受付時間：月～金 午前10時～午後5時30分（土・日・祝祭日・年末年始を除く）  
※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。

メールでのお問い合わせ：E-mail： support@qriom.com

ホームページ：

## 個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理義務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。